

平成28年度 第2回ゆりはま創生総合戦略会議

日 時 平成28年12月5日(月)

13時30分～

場 所 湯梨浜町役場 講堂

1. 開 会

2. 町長あいさつ

3. 会長あいさつ

4. 平成27年度事業の事業評価について

○事業番号：33

事業名：観光地域づくりの核となる「DMO」の推進（広域連携）①
のK P Iに係る数値が確定したため、報告するもの。

5. 平成28年度事業の進捗状況と取組状況及び平成29年度事業について

6. その他

7. 閉 会

ゆりはま創生総合戦略会議委員名簿

任期：平成27年5月27日～平成29年5月26日（2年間）

敬称略

	区分	役職	氏名	備考	
1	産	湯梨浜町商工会	会長	中島 守	
2	産	J A鳥取中央	湯梨浜営農センター長	西本 稔	
3	産	株式会社 栄進工業	代表取締役	坂田 康則	
4	官	湯梨浜町	町長	宮脇 正道	
5	学	鳥取看護大学・鳥取短期大学	理事長	山田 修平	会長
6	学	東郷湖・未来創造会議	会長	遠藤 公章	
7	学	女性団体連絡協議会	会長	井土 美智子	副会長
8	金	山陰合同銀行	羽合支店長	山村 靖	
9	金	鳥取銀行	羽合支店長	若山 敬之	
10	金	日本政策金融公庫	鳥取支店事業統轄	小野寺 仁史	
11	労	労働団体の関係者		加藤 一	
12	労	労働団体の関係者		野口 智恵子	
13	言	新日本海新聞社	顧問	佐伯 健二	
14	公募	男性公募		森田 宏樹	
15	公募	女性公募		杉本 貴美子	

16		鳥取県中部総合事務所 地域振興局	参事	中本 修	
17		湯梨浜町	副町長	仙賀 芳友	
18		湯梨浜町	副町長（地方創生担当）	山根 孝幸	
19		湯梨浜町	教育長	土海 孝治	
20		湯梨浜町総務課	課長	蔵本 知純	
21		湯梨浜町議会事務局	局長	川本 栄二	
22		湯梨浜町出納室	室長	川田 信行	
23		湯梨浜町建設水道課	課長	小林 長志	
24		湯梨浜町産業振興課	課長	前田 啓嗣	
25		湯梨浜町企画課	課長	森 輝信	
26		湯梨浜町町民課	課長	重松 雅文	
27		湯梨浜町子育て支援課	課長	丸 真美	
28		湯梨浜町総合福祉課	課長	米増 誠	
29		湯梨浜町健康推進課	課長	瀬戸 隆行	
30		湯梨浜町長寿福祉課	課長	竹本 恵子	
31		湯梨浜町教育総務課	課長	西原 信男	
32		湯梨浜町生涯学習・人権推進課	課長	山田 昭彦	
33		湯梨浜町中央公民館	館長	富山 弘道	
34		湯梨浜町立図書館	館長	尾嶋 敏彦	
35		湯梨浜町国民宿舎水明荘	支配人	中山 明	
36		湯梨浜町みらい創造室	室長	岩崎 正一郎	事務局
37		湯梨浜町みらい創造室	安心生活担当係長	船木 宣孝	事務局
38		湯梨浜町みらい創造室	活力創造担当主事	會見 典恵	事務局
39		湯梨浜町みらい創造室	町民協働担当主事	谷岡 雅也	事務局

平成27年度 湯梨浜町まち・ひと・しごと創生総合戦略 具体的事業一覧
基本目標 I 活力ある元気なまち

資料 1

施策	担当課	事業名	事業概要	新規 継続	H27 事業実施内容 【H26からの繰越含む】	H27 KPI 目標・結果 【H26からの繰越含む】	H27 KPI 事業評価 【H26からの繰越含む】	H28 事業内容 【H27からの繰越含む】	H28 KPI 目標・結果 【H27からの繰越含む】
32	② 観光産業の振興	産業振興課	観光施設等への外国語表記推進	新規	H27計画に基づき改善を行う。			【加速化】※H28.2月補正計上 グラウンド・ゴルフのふる里公園 潮風の丘とまり クラブハウス等 施設案内(多言語対応)作成委託料 世界の競技人口、G・Gの歴史案内板 施設案内多言語化 G・Gルール DVD作成(多言語対応)	【目標】 ①海外からのイベント参加者数:200人(H29.3月)、500人(H32.3月) ②海外からのイベント参加国数:8カ国(H29.3月)、20カ国(H32.3月) ③町内観光入込客数:101万人(H29.3月)、110万人(H32.3月)
33	② 観光産業の振興	産業振興課	観光地域づくりの核となる「DMO」の推進(広域連携)①	新規	とっとり梨の花温泉郷広域観光協議会を法人化し、旅行業を登録することにより組織体制を安定化させることでDMOの核として位置づけ、構成団体等の関係機関との役割分担を整理するとともに連携を深め、地域のコーディネート機能を持ったランドオペレーターとして整備し、受入地の事情でなく(外国人を含めた)旅行者の要請を最優先することのできるワンストップサービスの提供等を行う体制を構築する。また、婚活イベント(縁結びバスツアー)やセミナー等の婚活事業を実施。 ○全体事業費 3,681千円(広域連携事業全体額20,617千円)	【タイプI】※H27.12月補正計上 鳥取県中部圏域及び岡山県蒜山地域の連携を強め、観光資源の共有及び周遊環境の整備等による広域観光地の魅力向上のため事業を展開。DMO体制整備を伸展させるため、情報発信や受入環境整備、各種誘客事業を行った。 ①もてなし・受入環境整備事業 ②温泉地イメージ戦略事業 ③情報発信事業 ④プロモーション推進事業 ⑤誘客戦略事業	【評価:C 計画どおりに進んでいる】 組織を立ち上げ、事業に着手した。	【加速化】※H28.2月補正計上 ・DMO中部観光振興(広域観光連携) 3,178,000円 ・DMO中部観光振興(名探偵コンツァー) 782,000円	【目標】 中部エリア(H29.3月) ①年間観光入込客数:2,300,000人 ②年間観光宿泊客数:566,500人 ③年間外国人宿泊客数:18,000人 中部エリア(H31.3月) ①年間観光入込客数:2,500,000人 ②年間観光宿泊客数:600,000人 ③年間外国人宿泊客数:20,000人
34	② 観光産業の振興	健康推進課	観光地域づくりの核となる「DMO」の推進(広域連携)②	新規	H28:ワールドトレイルズカンファレンスWTC負担金(再掲)			【加速化】※H28.2月補正計上 H28ワールドトレイルズカンファレンス負担金	【目標】 中部エリア(H29.3月) ①年間観光入込客数:2,300,000人 ②年間観光宿泊客数:566,500人 ③年間外国人宿泊客数:18,000人 中部エリア(H31.3月) ①年間観光入込客数:2,500,000人 ②年間観光宿泊客数:600,000人 ③年間外国人宿泊客数:20,000人

湯梨浜町まち・ひと・しごと創生総合戦略 平成28年度事業進捗状況報告

資料 2

基本目標 I 活力ある元気なまち

施策	担当課	事業名	H28 事業内容 【H27からの繰越含む】	月	4 5 6 7 8 9 10 11 12 1 2 3												1 段目 : H28 KPI 目標 2 段目 : 現在の状況 3 段目 : 達成率、4 段目 : 進捗率		予算執行状況 単位: 千円 H27 (繰越分) H28 執行済額 執行済額		現在までの評価	H28 KPI 事業評価 【H27からの繰越含む】	上段: 事業評価に対する対応策 下段: H29年度に向けた方針	
					計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績						
1	みらい創造室	湯梨浜町総合戦略策定事業	湯梨浜町まち・ひと・しごと創生総合戦略に関する事業を着実に実施していくとともに、成果検証を行い改善を図っていく。 ・総合戦略会議、成果検証会議委員報酬金 48千円 ・報告会、説明会、研修会への参加旅費 548千円 ・消耗品の購入、郵送料 160千円 ※H28から「地方創生経費」へ統合		<p>ゆりはま未来づくり本部会議、ワーキンググループ会議、総合戦略会議 随時開催、各課事業の執行</p> <p>取り組み状況等をHPや町報等で公開</p> <p>4/28本部会議開催 5/12総合戦略会議開催 6/22各課へ本部会議資料作成依頼 7/11第2回本部会議開催 9/21各課へ本部会議資料作成依頼</p> <p>総合戦略の状況をHP掲載 交付金相談会出席、GG国際化協会協議、生涯活躍のまち移住促進センターセミナー参加</p>												【目標】 総合戦略会議、成果検証会議を1回以上開催する	【現在の状況】 5月12日、総合戦略会議を開催し、検証等を実施(12月5日にも開催予定)	【達成率】 100%	【進捗率】 50%	0	270	<p>【評価:B 計画以上に進んでいる】</p> <p>今年度は2回開催する。5月12日に総合戦略会議を開催し検証等を行い、12月5日の会議では今年度の進捗状況の確認、新年度に向けて検討を行うことにより、計画以上に進んでいる。</p> <p>【H29年度に向けた方針】 12月5日の会議で今年度の進捗状況の確認を行うとともに、年度に向けて検討を行う。</p>	<p>【事業評価に対する対応策】 予定通り会議を開催する。</p>
2	① 農林水産業の振興 産業振興課	農産物販路拡大及びブランド化推進事業	進物用パンフレットを見てJA等の生産者や役場に問い合わせをしてきた消費者もあり、本年度もパンフレットの作成を支援する。 ○全体事業費 鳥取県生産振興事業(地方創生)のうち補助金 パンフレット作成支援 380千円		<p>関係者協議</p> <p>事業実施</p> <p>次年度準備</p> <p>関係者協議</p>												【目標】 売上拡大を目指し、H28の主力梨(二十世紀、新甘泉、新興、王秋、あたご)の進物箱の平均単価を100円増とする。 (H31の最終的な進物用単価をH28年比300円増とする。)	【現在の状況】 パンフレットに掲載する内容について昨年の反応等を勘案しながら協議、原案作成中。	【達成率】 50%	【進捗率】 50%	0	0	<p>【評価:C 計画どおりに進んでいる】</p> <p>毎年、少しずつ変わっているが基本線は同じであり、中身についてもっと練りこむ必要がある。</p> <p>【H29年度に向けた方針】 年度が替わる前から相談を始め、内容について練りこんでいく。</p>	<p>【事業評価に対する対応策】 販売に直結するものであり、早い段階から着手する必要がある。</p>
3	① 農林水産業の振興 産業振興課	鳥取県等生産振興事業(農業生産現場強化事業)	梨・柿・ぶどう等、人気の高い新品種への更新、スปีドスプレーや兼用モアといった省力化防除用機械の導入、気象災害に備えた設備の導入・更新を支援する。 ○全体事業費 鳥取県生産振興事業(地方創生)のうち補助金 梨新植・省力化防除用機械、気象災害対策設備導入支援 7,627千円 柿ぶどう生産振興事業(地方創生) 新品種の新植・ハウス導入支援 2,855千円		<p>事業説明</p> <p>申請受付</p> <p>事業実施・随時現地確認</p> <p>次年度準備</p> <p>事業説明</p> <p>申請受付</p>												【目標】 対象農業者による省力化防除面積の20%増	【現在の状況】 希望者の掘り起しのため、JAと共同で説明会を随時開催中。 申請受付 梨:10名、柿:1名	【達成率】 0%	【進捗率】 30%	0	0	<p>【評価:C 計画どおりに進んでいる】</p> <p>新甘泉の高値取引が続いており、興味を示す農業者が増えたことから、計画通りに進捗している。</p> <p>梨、柿、ぶどうについては希望者の掘りおこしを行い、10月末まで申請を受け付けているところ。</p> <p>10月末までの状況は、柿の新植1名(10a)、梨(新甘泉)の新植10名(約1ha)</p>	<p>【事業評価に対する対応策】 今後も希望者の掘り起しに努める。</p>
4	① 農林水産業の振興 産業振興課	東郷梨栽培促進事業(農業生産現場強化事業)	(東郷梨生産振興事業に統合)														【目標】	【現在の状況】	【達成率】	【進捗率】			<p>【評価:C 計画どおりに進んでいる】</p>	<p>【事業評価に対する対応策】</p>
5	① 農林水産業の振興 産業振興課	東郷梨地域連携栽培プロジェクト事業	本年度の栽培面積に加え、さらに栽培面積を拡大し、プロジェクトとして増産に取り組む。 【推進交付金】※H28.6月補正計上 ・東郷梨地域連携栽培プロジェクト補助金 2,000千円		<p>申請受付</p> <p>事業実施・随時現地確認</p> <p>次年度準備</p> <p>関係者協議</p> <p>関係者協議</p>												【目標】 梨栽培面積35a増(前年と合わせ栽培面積70aとする)	【現在の状況】 農地契約済、収穫・販売中。	【達成率】 85%	【進捗率】 50%	0	0	<p>【評価:C 計画どおりに進んでいる】</p> <p>KPI達成のため、栽培面積の拡大のため、東郷梨実部を通じて手放したい果樹園(成園であり、耕作放棄されていない農地に限る)をあたっており、取り組み可能な候補地を選定し、現在契約も完了したところ。成園を借りたことで収穫が見込めるため、順調に進むものと思われる。</p> <p>栽培条件の整った果樹園を出したいという高齢農家の好意によって進んでいるが、来年度以降の規模拡大に向けて準備が必要。</p>	<p>【事業評価に対する対応策】 来年度の規模拡大のため、JA・東郷梨実部等と緊密に連携しながら、条件のより良い果樹園の出し手を探す。</p>
6	① 農林水産業の振興 産業振興課	果樹園等維持管理・流動化促進事業															【目標】	【現在の状況】	【達成率】	【進捗率】			<p>【事業評価に対する対応策】</p>	<p>【H29年度に向けた方針】</p>

基本目標 I 活力ある元気なまち

施策	担当課	事業名	H28 事業内容 【H27からの繰越含む】	月	4 5 6 7 8 9 10 11 12 1 2 3												1 段目: H28KPI目標 2 段目: 現在の状況 3 段目: 達成率、4 段目: 進捗率		予算執行状況 単位: 千円 H27(繰越分) 執行済額 H28 執行済額		現在までの評価	H28 KPI 事業評価 【H27からの繰越含む】	上段: 事業評価に対する対応策 下段: H29年度に向けた方針
					4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	執行済額	執行済額					
7	① 農林水産業の振興	産業振興課	湯梨浜版担い手認定	湯梨浜町担い手ステップアップ支援事業を創設し、平成28年度から本格的に事業に取り組む。 【対象者】 ①認定農業者、②準認定農業者、③認定新規就農者、④準認定新規就農者、⑤集落営農組織 【支援内容、補助率等、対象者】 ○就農奨励金: 就農3年以内の対象者に定額30万円、④ ○新規就農者住宅家賃補助: 町外から転入する就農者に家賃の1/2(上限2万円)を補助、③・④ ○中古機械導入補助: 中古機械導入費の1/3(上限10~50万円)を補助、①・②・③・④ ○農業機械修理補助: 農業機械・施設の修繕費の一部を補助(5~30万円)、①・②・③・④・⑤	計画													【目標】 準認定新規就農者: 1人増 準認定農業者: 2人増	-	934	事業周知により、事業活用の相談が寄せられるようになったが、認定農業者や新規認定農業者を目指す方からの相談がほとんどである。今後はKPI目標達成に向け、事業周知と併せて準認定新規就農者や準認定農業者の掘り起しを行う。 現在、農大やアグリチャレンジを受けている3人のほかに、新たに3人の方より、新規就農に向けた相談あり。	【評価: D】計画より遅れている	【事業評価に対する対応策】 地域農業の維持には中規模担い手の育成も必要であり、兼業農家等への周知を行う。
					実績													【現在の状況】 準認定新規就農者、準認定農業者増加数: 0人 町報掲載、パンフレット作成及び県外就農相談会への参加により事業を周知を行った。 事業申請(中古機械購入)3件	-	0	【達成率】 0%	【進捗率】 30%	【H29年度に向けた方針】 28年度の事業評価を踏まえ、必要があれば制度を見直す。
予算額 4,311,000円																							
8	① 農林水産業の振興	産業振興課	中核的担い手農家育成奨励金交付事業(農業生産現場強化事業)	【事業内容】本町の農地を守るため、町外農業者が本町の農地を3年以上借り受けた場合、奨励金を交付するもの。	計画													【目標】 権利設定面積8ha	-	0	今年産の耕作に向けた権利設定を実施。今後は次年度に向け対応予定。 4月からの作付に向けて、12月から権利設定作業予定。	【評価: C】計画どおりに進んでいる	【事業評価に対する対応策】 年内に権利設定が終了するよう、地権者の了解をもらう。
					実績													【現在の状況】 新規権利設定 1.25ha	-	0	【達成率】 15%	【進捗率】 15%	【H29年度に向けた方針】 H29年度に耕作できるよう、年内を目途に権利設定が終了するよう進める。
予算額 725,000円																							
9	① 農林水産業の振興	産業振興課	がんばる農家プラン支援事業(農業生産現場強化事業)	【事業主体】中村弘明 【事業内容】水稲の販路拡大を図るため、特別栽培米の取組を行う。しかし、町内JAでは特別栽培米を取り扱っていないことから、自身で乾燥調製を行い、販売するもの。 【事業費】2,116,044円 【補助金額】979,650円(県653,100円、町326,550円)	計画													【目標】 認定農業者 3名増	-	689	事業活用の経営規模拡大は順調に進んでいる。	【評価: C】計画どおりに進んでいる	【事業評価に対する対応策】 担い手の経営規模拡大は順調に進んでおり、引き続き支援する。
					実績													【現在の状況】 認定農業者増加数 2名増 計画認定者(事業継続者)の補助金申請手続きを行った。 新規認定農業者申請相談受付 4名	-	0	【達成率】 66%	【進捗率】 50%	【H29年度に向けた方針】 担い手の経営規模拡大に向け継続して支援するとともに、新たな担い手の掘り起しを行う。
予算額 989,000円																							
10	① 農林水産業の振興	産業振興課	もうかる6次化・農商工連携支援事業	【事業主体】(株)ネクステファーム 【事業内容】農産物の生産から販売、消費まで行う多角化農業に必要な施設・機械導入及び販路拡大の取組を支援。 (田植機、コンバイン、水稲色選機、乾燥調製設備、ハウス、販売促進チラシ等) 【事業費】19,730,345円 【補助金額】13,153,563円(県9,865,172円、町3,288,391円)	計画													【目標】 認定農業者 1名増	-	0	事業活用の経営規模拡大は順調に進んでいる。	【評価: C】計画どおりに進んでいる	【事業評価に対する対応策】 担い手の経営規模拡大は順調に進んでおり、引き続き支援する。
					実績													【現在の状況】 認定農業者増加数 2名増 計画認定者(事業継続者)の補助金申請手続きを行った。	-	0	【達成率】 200%	【進捗率】 90%	【H29年度に向けた方針】 担い手の経営規模拡大に向け継続して支援するとともに、新たな担い手の掘り起しを行う。
予算額 13,153,563円																							
11	① 農林水産業の振興	産業振興課	知的所有権取得支援	町内の名産・特産について、GIマークや商標権、意匠権等の取得・更新を推進する。 ・知的所有権の取得・更新に係る調査・研修費用の助成 150千円	計画													【目標】 取得件数: 1件	-	0	10月中の要綱作成を目指す。	【評価: D】計画より遅れている	【事業評価に対する対応策】 要綱作成中(パッケージデザイン作成支援事業と同一要綱)
					実績													【現在の状況】 事業の内容について検討中	-	0	【達成率】 0%	【進捗率】 0%	【H29年度に向けた方針】 商工会等と連携し、制度のPRに努める。
予算額 150,000円																							
12	① 農林水産業の振興	産業振興課	パッケージデザイン作成助成事業	町内で生産された農水産物等の販売促進のため、パッケージデザイン作成費用を助成する。 ・パッケージデザイン作成費用助成 80千円	計画													【目標】 作成件数: 1件	-	0	10月中の要綱作成を目指す。	【評価: D】計画より遅れている	【事業評価に対する対応策】 要綱作成中(知的所有権取得支援事業と同一要綱)
					実績													【現在の状況】 事業の内容について検討中	-	0	【達成率】 0%	【進捗率】 0%	【H29年度に向けた方針】 商工会等と連携し、制度のPRに努める。
予算額 80,000円																							

基本目標 I 活力ある元気なまち

施策	担当課	事業名	H28 事業内容 【H27からの繰越含む】	月	4 5 6 7 8 9 10 11 12 1 2 3												1 段目: H28KPI目標 2 段目: 現在の状況 3 段目: 達成率、4 段目: 進捗率		予算執行状況 単位: 千円 H27(繰越分) H28 執行済額 執行済額		現在までの評価	H28 KPI 事業評価 【H27からの繰越含む】	上段: 事業評価に対する対応策 下段: H29年度に向けた方針
13	① 農林水産業の振興	産業振興課	砂丘農業復活プロジェクト事業 27年度に引き続き、羽合砂丘地において、農地中間管理事業を活用し、(農)みどり生産組合に5haの農地を権利設定を行うよう事業推進する。	計画	← 相談対応・地権者交渉 → 権利設定 →												【目標】 27年度に引き続き、農地中間管理事業を活用し、(農)みどり生産組合に5haの農地を権利設定を行うよう事業推進する。			今年産、次年産の作付に向けて、随時打合せを実施中。目標達成に向け、協議を重ねていく。	【評価:C 計画どおりに進んでいる】 次年産に向け、圃場選定は実施済みであり、計画どおりに進んでいる。	【事業評価に対する対応策】 年内に権利設定が終了するよう、地権者の了解をもらう。	
				実績	みどり生産組合と協議 次年度圃場選定 5ha分												【現在の状況】 (農)みどり生産組合と今年産、次年産作付について打合せ実施。(農)みどり生産組合から作業員紹介の依頼を受け、総合福祉課から紹介された生活保護受給者1名を含む町民2名を紹介済。次年度圃場を5ha分選定	0	0				【達成率】 0%
予算額 0円																							
14	① 農林水産業の振興	産業振興課	温泉熱を活用した農業・観光分野の2次利用への展開【I: ②観光産業の振興及びII: ②まちのにぎわい創出や拠点の形成にも掲載あり】	計画													【目標】					【事業評価に対する対応策】	
				実績													【現在の状況】						【達成率】 -
予算額 0円																							
15	① 農林水産業の振興	産業振興課	種苗放流支援事業 ○東郷湖漁協漁業振興費補助金【事業内容】漁協が実施する覆砂事業費を補助し、東郷湖の水質浄化及びシジミの増殖を図る。【予算額】174,000円 ○内水面漁場環境保全事業補助金【事業内容】東郷湖の浮遊ゴミ等の処理費を補助し、漁場環境を保全する。【予算額】266,000円	計画	← 申請受付 → 事業実施 → 実績報告・確認 →												【目標】 シジミ漁獲量 30tの増			【東郷湖漁協漁業振興費補助金】未実施 【内水面漁場環境保全事業補助金】 8/30 補助金申請受付 9/2 交付決定 9/14 事業着手	【評価:D 計画より遅れている】 ①については未実施(10月実施) ②については、計画より早い時期に事業実施できている。 漁獲量については、H29年1月に取りまとめの予定(現在の漁獲量は、前年並み...東郷湖漁協問取り)	【事業評価に対する対応策】 ①については、実施に向けて準備中と関係者に確認済。	
				実績	【①東郷湖漁協漁業振興費補助金】未実施 【②内水面漁場環境保全事業補助金】 8/30 申請受付 9/2 交付決定 9/14 事業着												【現在の状況】 ① 未実施(現在、覆砂事業用の砂を手配中と漁協へ確認済) ② 申請受付、交付決定、事業着手まで済	-	0				【達成率】 -
予算額 440,000円																							
16	① 農林水産業の振興	産業振興課	地域資源商品化支援事業	計画													【目標】					【事業評価に対する対応策】	
				実績													【現在の状況】						【達成率】 -
予算額 0円																							
17	① 農林水産業の振興	産業振興課	港の資源振興事業①【I: ③商工業の振興にも掲載あり】 ◆協力隊2名分報酬等 4,642千円 ◆消耗品 15千円 ◆活動費 3,342千円	計画													【目標】 地域おこし協力隊任用: 2名(平成27年度任用者含む)					【事業評価に対する対応策】	
				実績													【現在の状況】	0	0				【達成率】 -
予算額 7,999,000円																							
18	① 農林水産業の振興	企画課	港の資源振興事業②【I: ③商工業の振興にも掲載あり】 ◆協力隊2名分報酬等 4,642千円 ◆消耗品 15千円 ◆活動費 3,342千円	計画	← 隊員募集準備 → 隊員募集・PR → 協力隊の活動推進(佐藤隊員) →												【目標】 地域おこし協力隊任用: 2名(平成27年度任用者含む)			■4/1から着任している佐藤隊員は、地域とのつながりを深めながら、サカナクワイ屋、よどや等での活動を行っている。自ら「軽トラ市」を企画し、産品等の販売PRにも取り組んだ。しかしながら、自己都合により9月末で退任し、9月末時点で任用0名となってしまった。 ■6/24から8/5まで協力隊員を1名募集し、5名の応募があった。8/19に一次選考、9/5に二次選考を行い、神戸市在住の女性1名が合格となった。着任日を現在調整中。(12月1日任用予定)	【評価:D 計画より遅れている】 4/1から任用していた1名が9月末で退任してしまい、9/末現在で任用0名となってしまった。	【事業評価に対する対応策】 関係課と調整し、早い時期に1名募集開始する。	
				実績	← 協力隊の活動推進(佐藤隊員) → ← 隊員募集準備 → 6/24~8/5 隊員募集・PR → 9/5 採用決定 →												【現在の状況】 1名は4/1より任命したが9/末で退任。別途募集していた1名について、9/5に任用を決定。現在、着任日を調整中。	0	1,548				【達成率】 50%
予算額 7,999,000円																							

基本目標 I 活力ある元気なまち

施策	担当課	事業名	H28 事業内容 【H27からの繰越含む】	月	4 5 6 7 8 9 10 11 12 1 2 3												1 段目: H28KPI目標 2 段目: 現在の状況 3 段目: 達成率、4 段目: 進捗率		予算執行状況 単位: 千円 H27(繰越分) H28		現在までの評価	H28 KPI 事業評価 【H27からの繰越含む】	上段: 事業評価に対する対応策 下段: H29年度に向けた方針
					執行済額	執行済額	現在までの評価	H28 KPI 事業評価															
19	① 農林水産業の振興	産業振興課	沿岸漁業活性化推進事業 町内の漁業者が省エネルギー化により漁業経営改善を図るために、省エネ型エンジンを購入するための経費に対する補助支援。	計画	← 申請受付 → 事業実施 → 実績報告 →												1 段目: H28KPI目標 2 段目: 現在の状況 3 段目: 達成率、4 段目: 進捗率	執行済額	執行済額	現在までの評価	H28 KPI 事業評価 【H27からの繰越含む】	上段: 事業評価に対する対応策 下段: H29年度に向けた方針	
				実績	予算額 1,167,000円	【現在の状況】 1隻申請予定。(9月補正計上済)	【達成率】 0%	【進捗率】 0%	0	0	【評価: E 未着手、未実施、先送りなど】	【事業評価に対する対応策】 年度内実施できるよう関係者を促していく。	【H29年度に向けた方針】 今後対象者が出てくれば、H29年度当初予算に計上。										
20	① 農林水産業の振興	産業振興課	特産品開発推進事業	計画													【目標】			現在までの評価	H28 KPI 事業評価	上段: 事業評価に対する対応策	
				実績	予算額 0円	【現在の状況】	【達成率】 -	【進捗率】 -			【評価: C 計画どおりに進んでいる】	【H29年度に向けた方針】											
21	② 観光産業の振興	生涯学習・人権推進課	グラウンド・ゴルフ国際化及び潮風の丘聖地化の推進① 【加速化】※H28.2月補正計上 ・海外プロモーション活動旅費等2,343千円 ・国際化促進PR用具248千円 ・国際化促進PR用具送料43千円 ・国際交流大会補助金3,647千円	計画													【目標】 ①海外からのイベント参加者数: 200人 (H29.3月)、500人 (H32.3月) ②海外からのイベント参加国数: 8カ国 (H29.3月)、20カ国 (H32.3月) ③町内観光入込客数: 101万人 (H29.3月)、110万人 (H32.3月)	4,433	-	5/13に実行委員会を開催、募集要項等について協議。現在募集要項を翻訳中。7/21から国内外の参加者を募集。9/16実行委員会を開催。応募状況、意見交換会及び参加者交流会の内容等について協議。9/30受付最終締切。海外5カ国から71人、国内在住外国人22人、日本人99人の応募あり。10/1①意見交換会(韓・露・波・西+日本協会・町・県・アソックス)32人【うち通訳4人】 10/1②参加者交流会【韓19+21、露17、露1、波6、西0】+日本側18+通訳28人 10/2大会の開催。当日参加者176人(海外5カ国65人、国内在住外国人17人、日本人94人、参加国合計12か国参加)	【評価: C 計画どおりに進んでいる】	【事業評価に対する対応策】 各国の窓口、事務局等と緊密な連携を確保。近隣市町のイベント等を考慮した大会日程を検討する。実行委員会内での十分な情報共有を図る。	【H29年度に向けた方針】 次年度の大会に向けては、要項の作成及び募集案内を3~4か月早め、新規参加国の拡大を図るとともに、継続参加国の維持を図る。
				実績	5/13 実行委員会開催 5/17町補助金申請 6/27町補助金受入 関係機関協議	9/16 実行委員会開催 10/1 意見交換会・参加者交流会 10/2 大会開催	7/21~参加者募集	【現在の状況】 ①65人 ②5カ国 ③は現在把握できない	【達成率】 -	【進捗率】 90%	【評価: C 計画どおりに進んでいる】	【事業評価に対する対応策】 より使い勝手の良い多言語対応DVDを作成するため、引き続き関係者と密接に打合せを行うこととする。	【H29年度に向けた方針】 引き続き、有利財源を探しながら、国際化並びに聖地化に向けた取組みを継続していく。										
22	② 観光産業の振興	産業振興課	グラウンド・ゴルフ国際化及び潮風の丘聖地化の推進② 【加速化】※H28.2月補正計上 グラウンド・ゴルフのふる里公園 潮風の丘とまりクラブハウス等 施設案内(多言語対応)作成委託料 世界の競技人口、G-Gの歴史案内板 施設案内内多言語化 G-Gルール DVD作成(多言語対応)	計画	委託業務仕様書作成 契約事務 業務委託												【目標】 ①海外からのイベント参加者数: 200人 (H29.3月)、500人 (H32.3月) ②海外からのイベント参加国数: 8カ国 (H29.3月)、20カ国 (H32.3月) ③町内観光入込客数: 101万人 (H29.3月)、110万人 (H32.3月)	0	0	グラウンド・ゴルフ多言語化対応DVD等作成するため、指名型プロポーザル方式による委託業務のための要項、仕様書、審査会設置要綱を作成。その後、指名型プロポーザルにより業者を選定し契約を行った。今後、構成等協議しながら、撮影等を行い多言語化対応したDVD(PR動画)を作成する予定である。	【評価: C 計画どおりに進んでいる】	【事業評価に対する対応策】 引き続き、有利財源を探しながら、国際化並びに聖地化に向けた取組みを継続していく。	
				実績	委託業務仕様書作成	指名型プロポーザルの実施 7/158社指名 8/10 3社応募(1次審査) 8/25 プレゼン(2次審査)	業務委託 随意契約 9/5 シセイ堂デザイン 期間 9/5~H29/2/28	事務打合せ 9/13	【現在の状況】 ①~③は現在把握できない	【達成率】 -	【進捗率】 10%	【評価: C 計画どおりに進んでいる】	【事業評価に対する対応策】 引き続き、有利財源を探しながら、国際化並びに聖地化に向けた取組みを継続していく。										
23	② 観光産業の振興	健康推進課	ウォーキングルート構想の推進及びインバウンドの促進 【加速化】※H28.2月補正計上 ワールドトレイルズカンファレンスにおける湯梨浜町ウォーキングコースにおいて町の特産等でおもてなしを行う。 また、韓国・済州オルレと友好を深め相互交流を充実するための協議を行う。	計画													【目標】 ①海外からのイベント参加者数: 200人 (H29.3月)、500人 (H32.3月) ②海外からのイベント参加国数: 8カ国 (H29.3月)、20カ国 (H32.3月) ③町内観光入込客数: 101万人 (H29.3月)、110万人 (H32.3月)	1,395	0	海外からの参加者を増やすため、WTC実行委員会を中心に各団体と連携をとってきた。現在海外ツアーの参加者が80名であり今後もPRが必要である。	【評価: D 計画より遅れている】	【事業評価に対する対応策】 WTCを終了後、韓国を中心とした国々とあらゆる機会を通じて情報発信する。	
				実績	WTC実行委員会と連絡調整	広報・申込受付	準備	WTC大会	九州オルレ視察	ゆりはま天女おもてなしウォーク実行委員会の開催	済州オルレ視察	ゆりはま天女おもてなしウォーク実行委員会の開催	【現在の状況】 参加者の募集を行った。海外参加者への周知は継続。 ①~③は現在把握できない	【達成率】 40%	【進捗率】 40%	【評価: D 計画より遅れている】	【事業評価に対する対応策】 WTCを終了後、韓国を中心とした国々とあらゆる機会を通じて情報発信する。	【H29年度に向けた方針】 ゆりはま天女ウォークを基軸にウォーキングルートを推進するための、海外への情報発信や連携を強化する。					

基本目標 I 活力ある元気なまち

施策	担当課	事業名	H28 事業内容 【H27からの繰越含む】	月	4 5 6 7 8 9 10 11 12 1 2 3												1 段目: H28KPI目標 2 段目: 現在の状況 3 段目: 達成率、4 段目: 進捗率		予算執行状況 単位: 千円 H27(繰越分) H28 執行済額 執行済額		現在までの評価	H28 KPI 事業評価 【H27からの繰越含む】	上段: 事業評価に対する対応策 下段: H29年度に向けた方針
					←→												執行済額	執行済額					
24	健康推進課	ワールドトレイルズカンファレンス事業	【加速化】※H28.2月補正計上 H28ワールドトレイルズカンファレンス負担金	計画	←→ WTC大会												【目標】 中部エリア(H29.3月) ①年間観光入込客数: 2,300,000人 ②年間観光宿泊客数: 566,500人 ③年間外国人宿泊客数: 18,000人 中部エリア(H31.3月) ①年間観光入込客数: 2,500,000人 ②年間観光宿泊客数: 600,000人 ③年間外国人宿泊客数: 20,000人	1,641	0	負担金納付済み。	【評価: C 計画どおりに進んでいる】 WTCは概ね予定通り進んでいるが、海外からの参加者が目標より少ない。	【事業評価に対する対応策】 今後は海外への情報発信に重点を置いた取組が必要。	
				実績	←→												【現在の状況】 中部エリア(H29.3月)①~③ 中部エリア(H31.3月)①~③については、現在把握できない	-	-	【達成率】 - 【進捗率】 -	【H29年度に向けた方針】 WTC鳥取大会は終了するが、本大会を契機に今後とも海外との交流を促進し、情報発信していきたい。		
予算額 1,641,000円																							
25	産業振興課	アロハカーニバル事業【I: ③商工業の振興にも掲載あり】	アメリカハワイ州ハワイ郡と姉妹都市関係にある当町において、ハワイの知名度を活かした催しとしてハワイ風にアレンジしたメニューを開発、提供し、関連イベントとあわせて町内の滞留性を高める。 ・新メニュー開発とイベントオープニング 150,000円 ・期間イベント(コナコーヒー、スタンプラリー等) 620,000円 ・イベントPR(印刷代、広告代等) 650,000円 ・事務費 50,000円	計画	←→ 計画・新メニュー作成 事業実施 事業報告・検査												【目標】 ①新メニュー提供店舗数: 18店舗(38%増) ②新メニュー提供数: 2,000食(25%増)	0	1,470	アロハ井、アロハバーガー、アロハスイーツなど、メニューの幅を増やして店舗が参加しやすい設定としているほか、ハワイをイメージした新ブランドの日本酒「JAPANESE SAKE TOGO HAWAII of JAPAN」を開発し、町内各店舗で販売するなど、従来の枠組みにとらわれない形で展開している。	【評価: C 計画どおりに進んでいる】 ①については、目標数値が未達成 ②については、目標を大きく上回った。	【事業評価に対する対応策】 町の夏の風物詩となっている。しっかりと事前準備が必要。	
				実績	←→ 計画・新メニュー作成 アロハカーニバル実施 7/1~8/21 食事提供13店舗 酒提供 3店舗 報告会 9/27												【現在の状況】 ①新メニュー提供店舗数: 14店舗(8%増) ②新メニュー提供数: 3,350食(109%増)	93%	90%	【達成率】 93% 【進捗率】 90%	【H29年度に向けた方針】 提供店舗数も目標達成できるよう、早めに関係先と協議して行くこととする。		
予算額 1,470,000円																							
26	企画課	天女のふる里づくり事業	天女のまちイメージ創出に向けモニュメントを完成させるほか、天女サミット関係市町との連携強化を図る。また、今後のさらなる住民参画に向け、東郷湖未来創造会議の新たな展開を推し進める。 ◆東郷湖・未来創造会議200千円 ◆モニュメント除幕式等(旅費、委託料)319千円 ◆天女サミット連携強化(旅費、消耗品、郵券)418千円 ◆フラワーロード推進等(原材料、消耗品)506千円 H28.9月補正予算計上 ◆東郷湖・未来創造会議50千円	計画	←→ モニュメント制作2基・除幕式実施 東郷湖未来創造会議の展開 フラワーロード事業の検討・推進 各種PR (合同イベント等への参加、グッズ販売)												【目標】 ①モニュメント設置: 2基 ②天女サミット等のイベント参加: 3回	0	146	■モニュメントについて、9/末に完成し、10/5にお披露目を行った。 ■第2回天女サミット(10/24大阪府高石市)開催に向け、高石市と諸々の調整を進めている。 ■東郷湖未来創造会議(8/29)に第1回会議を開催。8/28には福井昌平氏を講師に招き、まちづくりに関する講演会を行った。(100名参加) ■8/7に京丹後市天女イベントに参加し町PR(産振課対応)	【評価: C 計画どおりに進んでいる】 概ね計画通りに、予定した事業を進めている。	【事業評価に対する対応策】 関係者と調整しながら、引き続き着実な事業推進に努める。	
				実績	←→ モニュメント制作・設置(2基)、10/5お披露目式実施 フラワーロード事業の検討 8/28 福井昌平氏 講演会開催 東郷湖未来創造会議日程等調整 8/29 東郷湖・未来創造会議(第1回) 各種PR (8/7京丹後市イベント参加)												【現在の状況】 ①9/末にモニュメント完成 ②8/7に京丹後市天女イベントに参加し町PR(産振課対応)	65%	65%	【達成率】 65% 【進捗率】 65%	【H29年度に向けた方針】 ■花と緑の夢空間プロジェクト(フラワーロード)に関し、財源となる基金の創設について、情報発信する。 ■基金を活用した事業の実施について具体的な検討を進める。		
予算額 1,493,000円																							
27	産業振興課	温泉水を活用したスッポン養殖事業	次の実現を目指す ■一次加工処理、保管、常時提供の体制の確立 ■プランニングと販路開拓 ※事業費、町補助金の活用は未定	計画	←→ 年度事業計画作成 交付申請 事業実施 事業報告 検査 事業視察 審査、交付決定												【目標】 産卵と自家孵化養殖体制の確立	0	0	■本年度の事業で、産卵後に卵を保管する場所などを完成させる。この事業費は旅館組合の当初予算で計上済み。 ■スッポンの産卵時期の春から夏に間に合わせる。	【評価: D 計画より遅れている】 スッポンの養殖、料理提供ともに実現していない。	【事業評価に対する対応策】 事業継続のため問題点を洗い出し、解決方法を検討する。	
				実績	←→ 事業検討												【現在の状況】 産卵後の卵保管施設の建設に向け、下準備に着手。	20%	20%	【達成率】 20% 【進捗率】 20%	【H29年度に向けた方針】 専門家の助言などにより事業の軌道修正を図る。		
予算額 0円																							
28	産業振興課	温泉水を活用した農業・観光分野の2次利用への展開(再掲) 【I: ①農林水産業の振興及びIII: ②まちのにぎわい創出や拠点の形成にも記載あり】		計画													【目標】						【事業評価に対する対応策】
				実績													【現在の状況】						【H29年度に向けた方針】
予算額 0円																							

基本目標 I 活力ある元気なまち

施策	担当課	事業名	H28 事業内容 【H27からの繰越含む】	月	4 5 6 7 8 9 10 11 12 1 2 3												1 段目: H28KPI目標 2 段目: 現在の状況 3 段目: 達成率、4 段目: 進捗率		予算執行状況 単位: 千円 H27(繰越分) H28		現在までの評価	H28 KPI 事業評価 【H27からの繰越含む】	上段: 事業評価に対する対応策 下段: H29年度に向けた方針
					執行済額	執行済額	執行済額	執行済額															
29	② 観光産業の振興	産業振興課	観光関連施設情報環境(Wi-Fi)整備事業	【加速化】※H28.2月補正計上 H27年度に実施した「名探偵コナン」鳥取ミステリーツアーのインバウンド版として実施	計画	事業実施(助成制度の告知)H28.4.1~H29.3.31												【目標】 新規Wi-Fi施設整備数14件			【評価: C 計画どおりに進んでいる】	【事業評価に対する対応策】 関係者と調整しながら、引き続き着実な事業推進に努める。	
					実績	事業実施(助成制度の告知)H28.9.9~												【現在の状況】 整備件数7件					【H29年度に向けた方針】 国・県の助成制度等について情報を取得し、引き続き各事業者向けに周知を行う。
										予算額 0円													
30	② 観光産業の振興	産業振興課	名探偵コナン・ミステリーツアー事業	【加速化】※H28.2月補正計上 H27年度に実施した「名探偵コナン」鳥取ミステリーツアーのインバウンド版として実施	計画	事業実施(名探偵コナン鳥取ミステリーツアー)H278.4.1~H29.2.28												【目標】 中部エリア(H29.3月) ①年間観光入込客数: 2,300,000人 ②年間観光宿泊客数: 586,500人 ③年間外国人宿泊客数: 18,000人 中部エリア(H31.3月) ①年間観光入込客数: 2,500,000人 ②年間観光宿泊客数: 600,000人 ③年間外国人宿泊客数: 20,000人	782	0	【評価: C 計画どおりに進んでいる】	【事業評価に対する対応策】	
					実績	インバウンド版名探偵コナンミステリーツアー実施H28.4.1~ 4/27 第1回情報連絡会 8/17 第2回情報連絡会												【現在の状況】 中部エリア(H29.3月)①~② 中部エリア(H31.3月)①~③については、現在把握できない ④4~7月5,167人					【H29年度に向けた方針】
										予算額 782,000円													
31	② 観光産業の振興	産業振興課	水明荘経営改善事業	専門家の指導に基づいて、改善計画を着実に実施する。	計画													【目標】 改善計画の着実な実施 ネット評価: 4.2以上			【評価: C 計画どおりに進んでいる】	【事業評価に対する対応策】 従業員意識改革をさらに進める必要がある。	
					実績	実施事業の決定 進捗会議 進捗会議 進捗会議 進捗会議 進捗会議 職員OJT 中間報告												【現在の状況】 ネット評価: 3.9	0	0			【H29年度に向けた方針】 計画期間の2年目となることから、引き続き従業員の意識改革に努めながら経営改善に取り組みしていく。
										予算額 0円													
32	② 観光産業の振興	産業振興課	観光施設等への外国語表記推進	【加速化】※H28.2月補正計上 グラウンド・ゴルフのふる里公園 潮風の丘とまりクラブハウス等 施設案内(多言語対応)作成委託料 世界の競技人口、G・Gの歴史案内板 施設案内多言語化 G・Gルール DVD作成(多言語対応)	計画	潮風の丘聖地化事業とあわせて実施 委託業務仕様書作成 契約事務 業務委託												【目標】 ①海外からのイベント参加者数: 200人(H29.3月)、500人(H32.3月) ②海外からのイベント参加国数: 8カ国(H29.3月)、20カ国(H32.3月) ③町内観光入込客数: 101万人(H29.3月)、110万人(H32.3月)	0	0	【評価: C 計画どおりに進んでいる】	【事業評価に対する対応策】 事業については、計画的に実施中であるが、目標数値については、把握できていない。	
					実績	委託業務仕様書作成 指名型プロポーザルの実施 7/158社指名 8/10 3社応募(1次審査) 8/25 プレゼン(2次審査) 業務委託 随意契約 9/5 シセイ堂デザイン 期間 9/5~H29/2/28												【現在の状況】 ①~③は現在把握できない					【H29年度に向けた方針】 引き続き、有利財源を探しながら、インバウンド対策を実施していく。
										予算額 0円													

基本目標 I 活力ある元気なまち

施策	担当課	事業名	H28 事業内容 【H27からの繰越含む】	月	4 5 6 7 8 9 10 11 12 1 2 3												1 段目: H28KPI目標 2 段目: 現在の状況 3 段目: 達成率、4 段目: 進捗率		予算執行状況 単位: 千円 H27(繰越分) H28 執行済額 執行済額		現在までの評価	H28 KPI 事業評価 【H27からの繰越含む】	上段: 事業評価に対する対応策 下段: H29年度に向けた方針	
					4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	執行済額	執行済額						
33	② 観光産業の振興	産業振興課	観光地域づくりの核となる「DMO」の推進(広域連携)① 【加速化】※H28.2月補正計上 ・DMO中部観光振興(広域観光連携) 3,178,000円 ・DMO中部観光振興(名探偵コナンツアー) 782,000円 【推進交付金】※H28.6月補正計上 ・2次交通整備によるFIT受入対応実験事業 584千円 2総務費-1総務監理費-15諸費-0020広域連合負担金(管理)で支出。今回は、財源充当額のみ補正。	計画	事業実施「広域観光連携推進事業」鳥取中部観光推進機構で実施												【目標】 中部エリア(H29.3月) ①年間観光入込客数: 2,300,000人 ②年間観光宿泊客数: 566,500人 ③年間外国人宿泊客数: 18,000人 中部エリア(H31.3月) ①年間観光入込客数: 2,500,000人 ②年間観光宿泊客数: 600,000人 ③年間外国人宿泊客数: 20,000人 【推進交付金】 中部エリア(H28) ①年間入込客数: 172,000人 ②年間宿泊客数: 20,000人 ③年間外国人宿泊客数: 12,000人 中部エリア(H32) ①年間入込客数: 2,700,000人 ②年間宿泊客数: 634,000人 ③年間外国人宿泊客数: 38,000人	782	0	H27年度末に地域連携DMOとして観光地域づくりの推進体制を整えた。この実績、効果を踏まえPDCAサイクルを回しながら広域観光連携推進事業として、更なる観光客の誘客に向けた観光地域づくりを実践中である。 4/1からインバウンド版名探偵コナンミステリーツアーを開始。アジア圏を中心に引き続きPRを強化していく。 【海外販売促進活動実績】12回(4/1~10/31) 台湾4回、香港2回、韓国3回、タイ3回 【ツアーバス発行実績】2,972枚(4/1~10/31) 国別割合: 韓国40%、台湾30%、香港20%、タイ10% また、増加するFIT(外国人個人旅行者)の集客PR及び利便性向上のため、外国人観光客を対象として、安価に中部圏域を周遊できるタクシープランの実証実験(11月25日運行予定)を行うとともに、多言語案内パネル等を拠点となるタクシー乗り場等に設置する事業の申請を、地方創生推進交付金に対して行った。 なお、今年度の町内の観光入込客数は、H28.9月末現在で591,028人、宿泊客数は80,929人、そのうち、外国人宿泊客数は2,673人となっている。	【評価: C 計画どおりに進んでいる】	【事業評価に対する対応策】 【H29年度に向けた方針】 町として、積極的に意見・提案を行っていくこととする。		
				実績	インバウンド版名探偵コナンミステリーツアー実施H28.4.1~ 2次交通によるFIT受入対応実験事業申請 8/9第2回鳥取中部広域観光戦略会議にて「インバウンド」版タクシー運行について協議												【現在の状況】 ①②県報告待ち ③5,167人(4~7月)	【達成率】 28%	【進捗率】 50%					
			予算額 4,544,000円																					
34	② 観光産業の振興	健康推進課	観光地域づくりの核となる「DMO」の推進(広域連携)② 【加速化】※H28.2月補正計上 H28ワールドトレイズカンパレンス負担金	計画													【目標】 中部エリア(H29.3月) ①年間観光入込客数: 2,300,000人 ②年間観光宿泊客数: 566,500人 ③年間外国人宿泊客数: 18,000人 中部エリア(H31.3月) ①年間観光入込客数: 2,500,000人 ②年間観光宿泊客数: 600,000人 ③年間外国人宿泊客数: 20,000人	1,641	0	負担金納付済み。	【評価: C 計画どおりに進んでいる】	【事業評価に対する対応策】 WTCは概ね予定通り進んでいるが、海外からの参加者が目標より少ない。 【H29年度に向けた方針】 WTC鳥取大会は終了するが、本大会を契機に今後とも海外との交流を促進し、情報発信していきたい。		
				実績													【現在の状況】 中部エリア(H29.3月)①~③ 中部エリア(H31.3月)①~③については、現在把握できない	【達成率】 -	【進捗率】 -					
			予算額 1,641,000円																					
35	② 観光産業の振興	産業振興課	教育旅行のメニュー開発事業 ・教育旅行誘致リーフレット作成 100,000円 (町観光協会補助金9,599,000円のうち)	計画	事業実施 町観光協会で実施												【目標】 修学旅行等の予約: 2件	0	0	ドラゴンカヌーとグラウンドゴルフを組み合わせるため、中心会場としてハワイ夢広場を選定。多少の雨なら対応できるが、荒天時の代替メニューが必要となるため、衛生環境研究所の見学や水質改善対策の実験など、いくつかメニューを開発し、教育旅行商品としての第1号となる大阪市立茨田北中学校と現地協議を行った。 その結果、9月7日に第一弾として茨田北中学校約200人を受け入れた。また、近畿日本ツーリストより10月21日の予約も受けている。(実施済み)			【評価: C 計画どおりに進んでいる】	【事業評価に対する対応策】 事業実施の検証を行うとともに、今後に向けた受入体制の整備等十分な協議を行う。 【H29年度に向けた方針】 ドラゴンカヌーやグラウンドゴルフだけではなく、農業体験を活用した教育メニューの開発が必要
				実績	事業実施 町観光協会で実施 5/19観光商談会: 広島県広島市 5/26 先進地視察: 滋賀県大津市 5/30衛生環境研究所打合せ 6/5修学旅行現地見学: はわい夢広場 9/7大阪市立茨田北中学校受入実施(200名)ドラゴンカヌー体験・梨狩り体験												【現在の状況】 修学旅行の予約: 2件 9/7大阪市立茨田北中200人 10/21近畿日本ツーリスト40人	【達成率】 100%	【進捗率】 100%					
			予算額 100,000円																					
36	③ 商工業の振興	産業振興課	ゆりはまじげ産業支援事業 町内での起業や新事業に取り組む事業者に対して必要経費の一部を補助する。 ■事業者への補助金 3,000千円×2事業者	計画	申請受付(随時)												【目標】 起業や新事業への取り組みの支援: 2件	0	0	■広報ゆりはま4月号で周知を図った。起業などの相談があれば、制度の活用を提案する。 ■7月に商工会に制度概要を説明。制度を活用いただける案件があれば連携して対応する体制を協議した。 ■8月と9月に計2件の相談があり、うち1件は交付申請に向けて準備中。	相談を受けた2件の申請がある見込み。	【評価: C 計画どおりに進んでいる】	【事業評価に対する対応策】 予算を確認しながら、ほかの事業者にも制度を活用いただく。 【H29年度に向けた方針】 補助対象事業、補助上限額が適切な制度か、ほかの先進事例の情報を収集し、必要に応じて改正する。	
				実績	申請相談受け付け 商工会との協議 申請相談1件 申請相談1件												【現在の状況】 申請相談: 2件	【達成率】 10%	【進捗率】 30%					
			予算額 6,000,000円																					

基本目標 I 活力ある元気なまち

施策	担当課	事業名	H28 事業内容 【H27からの繰越含む】	月	4 5 6 7 8 9 10 11 12 1 2 3												1 段目: H28KPI目標 2 段目: 現在の状況 3 段目: 達成率、4 段目: 進捗率		予算執行状況 単位: 千円 H27(繰越分) H28		現在までの評価	H28 KPI 事業評価 【H27からの繰越含む】	上段: 事業評価に対する対応策 下段: H29年度に向けた方針
					執行済額	執行済額	執行済額	執行済額															
37	③ 商工業の振興	産業振興課	里山オフィス開設支援事業 移住定住を伴う小規模なIT・コンテンツ関係事業の事務所開設費用の一部を補助。県制度の上乗せ分として実施する。 ※具体的な案件がないため、必要に応じて補正予算で計上する。	計画	県制度に併せた要綱改正、県との協議												【目標】 県制度改正に伴う制度改正、庁内関係部署との相談体制の確立		0	0	■県制度の改正があったため、併せて町制度も改正が必要となる。現在、情報を収集中。	【評価: D】計画より遅れている 県制度の情報を収集中。	【事業評価に対する対応策】 県制度を調査し、対応する。 【H29年度に向けた方針】 県制度の利用実績は2年間で1件のみと、あまり活用がない状況。サテライトオフィス単独ではなく、ほかの制度と統合して支援していくことを検討したい。
				実績	申請受付(随時)												【現在の状況】 県制度の情報収集						
予算額 0円																							
38	③ 商工業の振興	産業振興課	チャレンジショップ支援事業【1:④雇用の推進にも記載あり】 町内の空き店舗を借りて事業を行う場合にその賃借料を補助する。	計画	申請受付(随時)												【目標】 継続分: 2件 新規分: 1件		0	180	■継続分2件の交付決定を行い、空き店舗での事業を支援している。 ■新規分に関しては起業などの相談があるために制度の説明を行っているが、現在までに該当者がない状況。	【評価: C】計画どおりに進んでいる 継続分2件に対して支援を継続中、新規分に関しては、制度を活用いただけた事業者が少ない状況。	【事業評価に対する対応策】 起業などの相談のたびに、制度の説明を行う。 【H29年度に向けた方針】 現行の制度を継続したい。
				実績	申請受付(随時)												【現在の状況】 継続分: 2件の交付決定 新規分: 0件						
予算額 865,000円																							
39	③ 商工業の振興	産業振興課	アロハカーニバル事業(再掲) 【1:②観光産業の振興にも記載あり】 アメリカハワイ州ハワイ郡と姉妹都市関係にある当町において、ハワイの知名度を活かした催しとしてハワイ風アレンジしたメニューを開発、提供し、関連イベントとあわせて町内の滞留性を高める。 ・新メニュー開発とイベントオープニング 150,000円 ・期間イベント(コナコーヒー、スタンプラリー等) 620,000円 ・イベントPR(印刷代、広告代等) 650,000円 ・事務費 50,000円	計画	計画・新メニュー作成 事業実施 事業報告・検査												【目標】 ①新メニュー提供店舗数: 18店舗(38%増) ②新メニュー提供数: 2,000食(25%増)		0	1,470	アロハ井、アロハバーガー、アロハスイーツなど、メニューの幅を増やして店舗が参加しやすい設定しているほか、ハワイをイメージした新ブランドの日本酒「JAPANESE SAKE TOGO HAWAII of JAPAN」を開発し、町内各店舗で販売するなど、従来の枠組みにとられない形で展開している。	【評価: C】計画どおりに進んでいる ①については、目標数値が未達成 ②については、目標を大きく上回った。	【事業評価に対する対応策】 町の夏の風物詩となっている。しっかりと事前準備が必要。 【H29年度に向けた方針】 提供店舗数も目標達成できるよう、早めに関係先と協議して行くこととする。
				実績	計画・新メニュー作成 アロハカーニバル実施 7/1~8/21 食事提供13店舗 酒提供 3店舗 報告会 9/27												【現在の状況】 ①新メニュー提供店舗数: 14店舗(8%増) ②新メニュー提供数: 3,350食(109%増)						
予算額 1,470,000円																							
40	③ 商工業の振興	産業振興課	家業継承者支援事業 家業継承による設備投資を行う場合、既存事業(ゆりはまじげ産業支援事業)を拡張して支援を行う。また相談があった場合、専門機関(鳥取県事業引継ぎ支援センター)につなげる。	計画	申請受付(随時) ※ゆりはまじげ産業育成事業と同様												【目標】 相談があった場合の相談と制度による支援: 1件		0	0	■5月26日に専門機関の鳥取県事業引継ぎ支援センターと協議。相談があった場合の体制の確認を行った。 ■7月に商工会に、家業継承を支援するゆりはまじげ産業支援事業の概要を説明、制度を活用いただける案件があれば連携して対応する体制とした。	【評価: C】計画どおりに進んでいる 相談があった場合に、専門機関に速やかに紹介できる体制としている。	【事業評価に対する対応策】 相談があれば専門機関に紹介する。また要件が合えば補助制度を説明する。 【H29年度に向けた方針】 現行の体制と制度を継続したい。
				実績	申請受付(随時)												【現在の状況】 支援: 0件						
予算額 0円																							
41	③ 商工業の振興	産業振興課	ふるさと名物応援事業 国の補助金を活用した4事業者が、本格的にふるさと名物応援事業を開始する。具体的な事業内容が固まり次第、町として必要な支援(ふるさと名物応援事業の活用など)を行っている。	計画	4事業者国への交付申請 事業実施(初年度) 事業実施(2年度)												【目標】 4事業者のフォローと既存制度による支援		0	0	■国のふるさと名物応援事業補助金の交付決定を受け、4事業者が本格的に事業に着手。▽済州島の視察マフェア出展による事業PR▽朝食プランの作成▽ウオーキングに関する商品開発▽ホームページなどの情報発信ツールの作成に取り組んでる。 ■国補助金の対象外とした事業の町補助制度の活用を検討中。	【評価: C】計画どおりに進んでいる 事業計画に従って国補助事業を進めている。	【事業評価に対する対応策】 町補助事業を活用いただき、ふるさと名物のさらなる普及と発展に努める。 【H29年度に向けた方針】 現行の体制と制度を継続したい。
				実績	4事業者フォロー、ゆりはまじげ産業支援事業による支援												【現在の状況】 国補助事業実施中、町補助制度の活用を検討						
予算額 0円																							
42	③ 商工業の振興	町民課	環境創出プロジェクト事業 町民から生ごみを回収し、これを活用し農業用の有機液肥肥料や培養土として販売する。また、その他東郷支所に液肥タンクを設置し、町民に無料配布する。これにより町民参画と食物を土に返すことによるイメージアップ、企業との連携によるエコブランドの販路を回り循環型社会を目指す。対象事業費3,100千円(委託料: 生ごみリサイクル活用事業) ○全体事業費 13,908千円 報償費 1,500千円 役務費 28千円 委託料 12,280千円 補助金 100千円	計画	生ごみ回収・処理												【目標】 生ごみ回収協力区の拡大 H27末 11区 ⇒ H28末 12区以上		0	1,283	・5/15東郷湖一斉清掃の参加者に液肥を無料配布PR ・6/4東田地区の役員会で生ごみ収集の協力依頼及び液肥を無料配布しPR。また6月号町報に液肥についてPR。 ・8/7白樫区、8/27水西区の役員会で生ごみ収集の協力依頼及び液肥についてPR。 ・液肥の利用者へ利用実態等の聞き取りを実施。	【評価: D】計画より遅れている 生ごみ回収についてはこれまでの文書による協力依頼に加え、各区の役員会等で直接協力をお願いを行っている。総会での意思決定が必要であるため現段階では新規0である。これまで町報等を通じてPRはしているものの、生ごみを回収し液肥に活用していることの認知が低いと感じた。 また生ごみを別で回収することで、それに相当する焼却に係る連合への負担金は削減しているが、それ以上に生ごみを回収する費用を要している現状がある。	【事業評価に対する対応策】 引き続き比較的小さな集落を中心に出向き、生ごみ回収の協力依頼をする。 【H29年度に向けた方針】 液肥の利用者への利用実態の聞き取り及び生ごみ回収の実態を把握する中で取り組みを進める。
				実績	生ごみ回収・処理												【現在の状況】 H28.6月 11区(新規0) H28.9月 11区(新規0)						
予算額 3,100,000円																							

基本目標 I 活力ある元気なまち

施策	担当課	事業名	H28 事業内容 【H27からの繰越含む】	月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	1 段目: H28KPI目標 2 段目: 現在の状況 3 段目: 達成率、4 段目: 進捗率	予算執行状況 単位: 千円		現在までの評価	H28 KPI 事業評価 【H27からの繰越含む】	上段: 事業評価に対する対応策 下段: H29年度に向けた方針							
																		H27(繰越分)	H28										
43	③ 商工業の振興	産業振興課	港の資源振興事業①(再掲) 【1: ①農林水産業の振興にも記載あり】	地域おこし協力隊2名雇用し、地域活動に従事。地域の活力向上を図る。 ◆協力隊2名分報酬等 4,642千円 ◆消耗品 15千円 ◆活動費 3,342千円	計画												【目標】 地域おこし協力隊任用: 2名 (平成27年度任用者含む)				【事業評価に対する対応策】 【H29年度に向けた方針】								
					実績														【現在の状況】										
					予算額 7,999,000円																								
44	③ 商工業の振興	企画課	港の資源振興事業②(再掲) 【1: ①農林水産業の振興にも記載あり】	地域おこし協力隊2名雇用し、地域活動に従事。地域の活力向上を図る。 ◆協力隊2名分報酬等 4,642千円 ◆消耗品 15千円 ◆活動費 3,342千円	計画														【目標】 地域おこし協力隊任用: 2名 (平成27年度任用者含む)				【事業評価に対する対応策】 関係課と調整し、早い時期に1名募集開始する。						
					実績														【現在の状況】 1名は4/1より任命したが9/末で退任。別途募集していた1名について、9/5に任用を決定。現在、着任日を調整中。	0	1,548		【評価: D 計画より遅れている】 4/1から任用していた1名が9月まで退任してしまい、9/末現在で任用0名となってしまった。 9月末時点で任用0名となってしまった。 しかしながら、自己都合により9月末で退任し、9月末時点で任用0名となってしまった。 【6/24から8/5まで協力隊員を1名募集し、5名の応募があった。8/19に二次選考、9/5に二次選考を行い、神戸市在住の女性1名が合格となった。着任日を現在調整中。(12月1日任用予定)】	【H29年度に向けた方針】 協力隊で取り組むテーマを明確にし、関係課の支援体制を整える。					
					予算額 7,999,000円																								
45	③ 商工業の振興	産業振興課	アメリカ合衆国ハワイ郡との姉妹都市提携を活用した商品開発	商品開発の実現に向けてのハードルが高いが、実現に向けて検討していく。	計画														【目標】 実現可能な商品開発の検討				【事業評価に対する対応策】						
					実績														【現在の状況】 未着手	-	-		【評価: E 未着手、未実施、先送りなど】	【H29年度に向けた方針】					
					予算額 0円																								
46	③ 商工業の振興	教育総務課	中学校統合に伴う北浜中学校及び東郷中学校の跡地利用計画の策定等	教育委員会及び行政関係課と跡地利用の策定方法等について協議を進めたい。	計画														【目標】 跡地利用の素案資料を作成する。				【事業評価に対する対応策】 跡地利用の策定について関係課と協議を進める。						
					実績														【現在の状況】 7/19 教育委員会協議。	-	-		【評価: C 計画どおりに進んでいる】 7月の定例教育委員会協議、役場関係課(総務課、企画課、産業振興課等)と事務レベルの協議を進めたい。	【H29年度に向けた方針】 H29年度から跡地利用について具体的な検討を行い、方針決定を図る。					
					予算額 0円																								
47	④ 雇用の推進	教育総務課	看護士奨学金助成事業(ふるさと奨学金支援助成事業) 【Ⅲ: ①移住定住の推進にも記載あり】	ふるさと人材育成奨学金支援助成金鳥取県未来人材育成奨学金支援助成金の認定を受け、町内に定住する人を対象に奨学金返還額の一部を助成する。 ○対象になる業種など 製造業、情報通信業、薬剤師の領域、建設業・建設コンサルタント業、旅館・ホテル業に就職している既卒生や就職する予定の学生。 ○助成内容 無利子の奨学金: 貸与を受けた奨学金の返還総額の1/6 有利子の奨学金: 貸与を受けた奨学金の返還総額の1/8 助成期間は、原則として県内の対象業種に就職してから8年間。	計画														【目標】 ふるさと奨学金支援助成事業 広報及び県制度の認定者へ個別案内する。				【事業評価に対する対応策】 県に度々確認をして、申請を促していく。						
					実績														【現在の状況】 県に確認して個別案内をした。 湯梨浜町在住者4名に対し、8/23に、県就業支援課をとおりて案内を送付した。	0	0		【評価: C 計画どおりに進んでいる】 計画どおりに進んでいるが、申請が出ていない状況。	【H29年度に向けた方針】 県と一層の連携を図り、早目の対応で事業に取り組む。					
					予算額 630,000円																								
48	④ 雇用の推進	産業振興課	チャレンジショップ支援奨励金(再掲) 【1: ③商工業の振興にも記載あり】	町内の空き店舗を借りて事業を行う場合にその賃借料を補助する。	計画														【目標】 継続分: 2件 新規分: 1件				【事業評価に対する対応策】 起業などの相談のたびに、制度の説明を行う。						
					実績														【現在の状況】 継続分: 2件の交付決定 新規分: 0件	0	180		【評価: C 計画どおりに進んでいる】 継続分2件に対して支援を継続中、新規分に関しては、制度を活用いただける事業者がない状況。	【H29年度に向けた方針】 現行の制度を継続したい。					
					予算額 865,000円																								

基本目標 I 活力ある元気なまち

頁 4 / 4

施策	担当課	事業名	H28 事業内容 【H27からの繰越含む】	月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	1 段目: H28 KPI 目標		予算執行状況 単位: 千円		現在までの評価	H28 KPI 事業評価 【H27からの繰越含む】	上段: 事業評価に対する対応策 下段: H29年度に向けた方針
																	2 段目: 現在の状況	3 段目: 達成率、4 段目: 進捗率	H27(繰越分)	H28			
49	④ 雇用の推進	産業振興課	雇用促進奨励金事業 (町単独事業) 町内在住者が町内の事業所で雇用された場合に、事業所に奨励金を交付する。 ■雇用促進奨励金=1,700千円 (広域連携) 鳥取県中部圏域在住者が同圏域内の事業所で雇用された場合に、事業所に奨励金を交付する。 ■県中部雇用促進奨励金=300千円	計画	← 申請受付(随時) →													新規雇用者: 7人 (広域連携) 【目標】 町内在住者の雇用: 1人	0	900	■交付要件の一つである6カ月以上の継続雇用が確認できた5人分の交付決定を行った。 ■広域連携分に関しては倉吉市の取りまとめ後に交付要件が確認できた人の奨励金を交付決定し、支払い済み。	【評価: C 計画どおりに進んでいる】 交付要件が確認できた人の奨励金を交付決定し、支払い済み。	【事業評価に対する対応策】 相談があれば制度を紹介したい。
					実績	↔ (H27計画認定分)1件 手続き案内⇒交付決定 ↔ (H27計画認定分)4件 手続き案内⇒交付決定 ↔																	
				予算額 2,000,000円																			
50	④ 雇用の推進	産業振興課	就職関連情報提供事業 県内就職を支援するため、県外の大学生などに就職関連情報を提供できる方法を検討する。	計画	← 情報提供方法検討 → 提供先情報収集(成人式) → 情報提供 →													【目標】 町内へのUターンや定住を図るため、就職情報を提供できる方法検討する。	0	0	■過去2年間、成人式でアンケートを行い就職情報提供先の情報を集めてきたが、効果的でなかった。 ■県商工労働部就業支援課が、県内外の大学進学者に年4回就職関連情報を提供している。この制度の活用を検討したい。	【評価: D 計画より遅れている】 過去2年間の手法では効果が見込めない。ほかの方法を検討している。	【事業評価に対する対応策】 県商工労働部就業支援課の事業の情報を収集し、その活用を検討する。
					実績	← 情報提供方法検討 →																	
				予算額 0円																			
51	④ 雇用の推進	産業振興課	中部圏域への企業誘致推進事業(広域連携) 圏域の企業誘致可能な土地や空き工場の情報を集約し、関西事務所などを活用して情報提供を行う。	計画	← 情報収集、提供 →													【目標】 関西事務所を活用した情報提供を行う。	0	0	■既存パンフレットなどにより、情報提供を行っている。	【評価: C 計画どおりに進んでいる】 パンフレットなどにより、情報提供を行っている。	【事業評価に対する対応策】 現行の方法を継続する。
					実績	← 情報収集、提供 →																	
				予算額 0円																			

基本目標Ⅱ 安心して暮らせるまち

施策	担当課	事業名	H28 事業内容 【H27からの繰越含む】	月	4 5 6 7 8 9 10 11 12 1 2 3												1 段目: H28KPI目標 2 段目: 現在の状況 3 段目: 達成率、4 段目: 進捗率		予算執行状況 単位: 千円 H27(繰越分) H28 執行済額 執行済額		現在までの評価	H28 KPI 事業評価 【H27からの繰越含む】	上段: 事業評価に対する対応策 下段: H29年度に向けた方針
					計画												0		0				
56	子育て支援課	不妊治療費助成事業	県の助成決定を受けた不妊治療を行う夫婦に対し、治療の種類ごと、回数ごと、年度ごとに定める額を助成する。 H28年度助成金額改正。 【治療の種類】 ・特定不妊治療費 見込み18件 ・人工授精費 見込み5件 ・不育症治療費 見込み1件	計画	<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 30%;"> <p>不妊治療助成事業要綱改正に係る周知 (医療機関、県助成係へのチラシ配布・町報・ホームページ掲載他)</p> </div> <div style="width: 30%;"> <p>事業実施評価(県男性不妊治療助成実績・新要綱内容についての評価)および要綱改正についての検討</p> </div> <div style="width: 30%;"> <p>必要に応じて要綱改正</p> </div> </div>												0		929		制度改正に伴う広報、関係機関への周知を十分に行っている。 事前相談もあり、制度を活用しやすくなったのではないかと評価する。 制度利用実績 H25年度 延べ19件(14人) H26年度 延べ25件(12人) H27年度 延べ23件(14人) 特定不妊治療 延べ8件(7人) 人工授精	【評価:C 計画どおりに進んでいる】	【事業評価に対する対応策】 制度周知 県とともに広報が充実してきており、手続しやすくなってきていると評価する。 一方で、県の助成手続と町の手続きの、別々の手続きの負担解消について全県で意見交換したが、意ロー本化にならなかった。町の助成手続きについて、引き続き円滑に行えるよう支援を行っていく必要がある。
				実績	<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 30%;"> <p>5月6日不妊治療助成事業要綱改正を反映したチラシ配布(不妊治療医療機関・中部総合事務所)・町報5月号掲載・5月よりホームページ掲載・窓口掲示</p> </div> <div style="width: 30%;"> <p>県の窓口と市町村の窓口があることによる負担軽減について県と協議を行ったが、中部地区においては統一見解が出せなかった。</p> </div> </div>												0		929				
			予算額 2,404,000円																				
57	子育て支援課	ファミリーサポートセンター事業の充実	アドバイザー資金 提供会員向け講習会 事業PR	計画	<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 60%;"> <p>支援センター、各種教室等で制度周知、会員募集</p> </div> <div style="width: 30%;"> <p>会員研修</p> </div> </div>												0		867		会員増に向けた具体的な事業未実施。 10月に支援センターで説明、PR、勧誘実施。 依頼会員の増があったが、提供会員は増えていない。相互に援助を受けたり、援助したりできる関係を築き、相互会員の増を目指そうとしているが、具体的な働きかけができなかった。 利用状況は、塾の送り、児童クラブへの送り、保護者外出時の援助など固定の利用者となっている。 【登録実績】 H25年度 10件(4人) H26年度 32件(6人) H27年度 32件(4人) H28年度 22件(5人) 【会員登録状況】 H26年度 199人 依頼会員114人、提供会員61人両方会員24人 H27年度 208人 依頼会員113人、提供会員71人両方会員24人 H28年度 211人 依頼会員117人、提供会員71人両方会員23人	【評価:D 計画より遅れている】	【事業評価に対する対応策】 子育て支援センターで事業PR会員登録の働きかけを行う。 【H29年度に向けた方針】 事業の見直しを含めて、利用しやすいセンター事業について検討、実施する。
				実績	<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 60%;"> <p>依頼会員1増</p> </div> </div>												0		867				
			予算額 2,037,000円																				
58	健康推進課	18歳年度末までの医療費助成事業	小児医療対象者への医療費の給付(現物・現金)を実施する。	計画	<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 30%;"> <p>医療費助成</p> </div> <div style="width: 30%;"> <p>制度周知の広報</p> </div> <div style="width: 30%;"> <p>受給資格証の交付</p> </div> </div>												0		26,380		0~18歳の平成28年2~7月診療分医療費は26,380千円。昨年は20,346千円。6,034千円の増加。当初予定の年間4,381千円に比べ大幅な増加となっている。 新規に申請が必要な拡大対象者のうち、98%以上の方に申請していただいた。	【評価:B 計画以上に進んでいる】	【事業評価に対する対応策】 未申請者は残り6名。今後申請を受け付ける。未申請者と連絡が取れる場合は申請勧奨を行う。 【H29年度に向けた方針】 H29年度は制度変更の予定なし。小児の医療費が当初予定より大幅に増加しているため、H29年度予算の増加も視野に入れる。
				実績	<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 30%;"> <p>医療費助成</p> </div> <div style="width: 30%;"> <p>受給資格証の交付</p> </div> </div>												0		26,380				
			予算額 49,839,000円																				
59	子育て支援課	病児・病後児・夜間保育事業の拡充(広域連携)	<ul style="list-style-type: none"> ◆病児保育: 82人 (定住自立圏構想での取組。事業受託者/ババール園。実施場所県立厚生病院) 対象者: 在園児及び小学校3年生以下 895,644円 ◆病後児保育: 34人(定住自立圏構想での取組。事業受託者十学会。実施場所野島病院) 対象者: 在園児及び小学校3年生以下 (上記は引き続き定住自立圏で取り組む) ◆夜間保育: 実施を検討する(定住自立圏構想で検討する) 	計画	<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 30%;"> <p>定住自立圏構想の担当者会にて協議検討</p> </div> <div style="width: 30%;"> <p>定住自立圏構想の担当者会にて協議検討</p> </div> </div>												0		0		【病児保育利用実績】 H25年度 延べ34件 H26年度 延べ87件(15人) H27年度 延べ83件(15人) H28年度 延べ28件(5人) 【病後児保育利用実績】 H25年度 延べ22人 H26年度 延べ27人(12人) H27年度 延べ38人(16人) H28年度 延べ13人(6人) 夜間保育については、会議未開催につき未協議。	【評価:D 計画より遅れている】	【事業評価に対する対応策】 制度周知に努める。 【H29年度に向けた方針】 夜間保育共同実施の可能性について、定住自立圏構想の会議の中で協議する。
				実績	<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 30%;"> <p>定住自立圏構想の担当者会にて協議検討</p> </div> <div style="width: 30%;"> <p>定住自立圏構想の担当者会にて協議検討</p> </div> </div>												0		0				
			予算額 1,381,949円																				
60	子育て支援課	放課後児童クラブ、放課後子ども教室の推進①	放課後児童クラブ5カ所で運営。 放課後子ども総合プランに基づき、3小学校においては、放課後子ども教室と一体的に実施する。コミュニティ施設で実施する児童クラブについても、教育委員会と連携を取りながらゆりはま自主学習の広場事業と連携実施する。	計画	<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 30%;"> <p>放課後子どもプランに基づく運営委員</p> </div> <div style="width: 30%;"> <p>平成29年度募集に向けた利用定員の考え方、利用料等協議</p> </div> <div style="width: 30%;"> <p>児童クラブ利用者募集</p> </div> </div>												0		14,456		利用するかどうか分からないが登録しておくという保護者もある。殆ど利用してなくても登録したままの者も中にはある。利用希望と登録実績が合わないときもある。 5カ所で運営しているが、利用人数が大幅に増加しているクラブもあり、安全に過ごせる場と、支援員の確保を必要とする必要がある。 ゆりはま自主学習の広場とは、連携して運営ができています。	【評価:C 計画どおりに進んでいる】	【事業評価に対する対応策】 安全で、安心して過ごせる場として、支援員の適正配置、支援員の向上を目指した研修等実施する。 【H29年度に向けた方針】 安全で、安心して過ごせる場として、支援員の適正配置、支援員の向上を目指した研修等実施する。適正利用のため、利用基準等を明確化する。
				実績	<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 30%;"> <p>支援員随時研修、連絡会開催</p> </div> <div style="width: 30%;"> <p>5カ所で運営実施</p> </div> </div>												0		14,456				
			予算額 31,926,000円																				

基本目標Ⅱ 安心して暮らせるまち

施策	担当課	事業名	H28 事業内容 【H27からの繰越含む】	月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	1 段目: H28KPI目標		現在までの評価	H28 KPI 事業評価 【H27からの繰越含む】	上段: 事業評価に対する対応策 下段: H29年度に向けた方針	
																	2 段目: 現在の状況	H27(繰越分)				H28
																		予算執行状況	単位: 千円			
																		3 段目: 達成率, 4 段目: 進捗率	執行済額	執行済額		
61	① 子育て環境の推進	教育総務課	放課後児童クラブ・放課後子ども教室の推進② ゆりはま自主学習の広場事業(放課後子ども教室)	・羽合西コミュニティ及び町内3小学校の空き教室を使用し、年間40回程度の学習支援活動を行う。週1回は放課後(月9回予定)と夏季休業中に開催し、小学校低学年からの学習習慣の定着を目指す。指導については、教員OBを含めた地域人材を活用する。	計画												【目標】運営委員会を開催し、各小学校等で子ども教室を実施し、学習習慣の定着を図る。	0	123	・泊小学校、東郷小学校は、受け入れ児童数に余裕があるので再募集をした。 ・宿題が終わった児童は、補充プリント・応用プリントに意欲的に取り組むことができています。 ・宿題に取り組む時間に差があり、指導者は一人一人のペースに合わせた指導ができています。 ・落ち着かない児童がいる教室については、事務局担当者が訪問し改善に向けて取組を行う必要がある。	【事業評価に対する対応策】11月開催の運営委員会で、各実施場所の情報交換を行い、来年度へ向けての方向性を協議する。 【H29年度に向けた方針】来年度へ向けて、指導者の確保、対象学年の検討、学習内容の検討が必要である。	
					実績												【現在の状況】 ・羽合西コミュニティ(児童24名、指導者4名)、羽合小(児童26名、指導者3名)、泊小(児童5名、指導者4名)、東郷小(児童13名、指導者3名)	【達成率】 50%	【進捗率】 50%			
					予算額 2,861,000円																	
62	① 子育て環境の推進	中央公民館	放課後児童クラブ・放課後子ども教室の推進③	放課後や週末などにおける子どもたちの安全・安心な活動拠点(居場所)を確保し、地域の方々の協力を得て、子どもたちに学習や様々な体験、交流活動等の取り組みを実施し、子どもたちが地域との交流を深め、心豊かで健やかに育まれる環境づくりを推進する。 羽合地域(長瀬、東田後)、東郷地域(舎人、大介)、泊地域(泊)の5放課後子ども教室を実施する。	計画	羽合地域(長瀬、東田後)、東郷地域(舎人、大介)、泊地域(泊)の5放課後子ども教室を実施し、平日放課後や週末などにおける子どもたちの安全・安心な活動拠点の居場所を確保する。											【目標】放課後や週末などにおける子どもたちの安全・安心な活動拠点(居場所)作り。年間参加児童数2,400名以上とする。	0	945	地域の方、ボランティアサークルの協力を得ながら体験活動や交流などの事業も取り入れ、平日の放課後や週末等、子ども達の安全・安心な活動拠点(居場所)作りを努めている。	【事業評価に対する対応策】引き続き、安心・安全な活動拠点(居場所)の提供を行う	
					実績												【現在の状況】 ・1教室 毎週月・水曜日 ・2教室 毎週水曜日 ・2教室 週末土、日実施	【達成率】 63%	【進捗率】 50%			
					予算額 2,188,000円																	
63	① 子育て環境の推進	子育て支援課	SNS等による子育て支援情報の提供	必要な情報の内容及び提供媒体、方法を検討し、情報提供体制の充実を図るため、対象者の意見を聞きながら内容の検討を実施する。	計画												【目標】情報発信手段を決定し、準備を進める。情報発信方法が決まったら、登録を促し、年度内登録者数を50人とする。	0	0	他自治体へ提供しているアプリについて、2社から説明を受けた。一方はパターン化されており、提供資料の作成の時間軽減が図られる。年間200万円近くの費用を要する。また、もう一方は、年間50万円程度であるが、一部スケジューラー以外の子育て支援情報は、1から作成する必要がある。上記のほか、費用面の軽減を図り提供できる方法としてフェイスブックについて検討していくこととした。	【事業評価に対する対応策】早急に導入内容を協議し、方向性を定める。内容決定、アプリ等決定し、情報収集することができた。2社のアプリの説明を聞いていくこととする。	
					実績												【現在の状況】2社のアプリ、モバイルサービスについて説明を聞いた。	【達成率】 20%	【進捗率】 50%			
					予算額 0円																	
64	① 子育て環境の推進	教育総務課	ゆりはま自主学習の広場事業(ゆりはま地域未来塾)	町在住の地域人材や学生ボランティア等の協力を得て、平日の放課後や土曜日の部活動終了後に、希望する中学1年生を対象に学習習慣の定着を目指すものであり、オール満喫体制での町の将来を担う中学生に対し自主的な学習の機会を提供する。 ※国事業:【学校・家庭・地域の連携協力推進事業】を活用(補助率:国・県・市町各1/3) ・謝金 566,960円 ・報償費 9,600円 ・謝金 43,200円 ・保険料 67,200円	計画												【目標】運営委員会を開催し、各中学校で未来塾を実施し、学習習慣の定着を図る。	0	28	・9月現在での実施回数は、9/16回であり、実施率は、約56%。 ・7月から8月にかけて、両中学校において追加の参加募集を行い、北浜中では8名、東郷中では5名の参加が増えた。 【参加生徒数】北浜中: 11名(+8) 東郷中: 7名(+5) 合 計: 18名(+13)	【事業評価に対する対応策】実施計画の後半では、学生による支援を厚くしていく。※北浜中・参加生徒・その保護者へのアンケートを行う。	
					実績												【現在の状況】 ・5月18日より両中学校を会場に計9回実施済。 参加生徒: 北浜中11名、東郷中7名※7月実施の追加募集により13名増加 ・支援者: 地域人材(14名)学生(6名)計20名。 ・自学習が家庭でもできるような学び方、時間の使い方、教材の使い方等のスキルを身に付けている。	【達成率】 60%	【進捗率】 56%			
					予算額 689,000円																	
65	① 子育て環境の推進	教育総務課	学校支援ボランティア事業の推進	・各小中学校が作成した学校支援ボランティア人材バンクに登録された学校支援ボランティア登録者へのボランティア保険加入手続きを行う。 ・ボランティア保険料 51,000円 ・また、自校だけでは要請することが難しいボランティア内容に対し、他校人材バンクへの登録者情報を必要に応じて情報提供し、実施困難と思われるボランティア内容の実施応援体制を支援する。	計画												【目標】各学校のニーズに沿った地域による学校支援を実施する。	0	47	・学校支援ボランティア登録数は、例年並み上回る数となっている。学校のニーズをカバーできるボランティアの発掘に尽力してきた成果が出ている。 ・引き続き、支援ボランティア(追加)の呼びかけと登録事務手続きを行っていく。	【事業評価に対する対応策】支援者確保が難しい学校の依頼の他校に伝え、協力依頼を要請することも必要に応じて行う。	
					実績												【現在の状況】登録を把握しているボランティア分の保険加入手続きを完了。	【達成率】 80%	【進捗率】 55%			
					予算額 51,000円																	

基本目標Ⅱ 安心して暮らせるまち

施策	担当課	事業名	H28 事業内容 【H27からの繰越含む】	月	1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 1 2 3												1 段目: H28 KPI 目標 2 段目: 現在の状況 3 段目: 達成率、4 段目: 進捗率		予算執行状況 単位: 千円 H27(繰越分) H28 執行済額 執行済額		現在までの評価	H28 KPI 事業評価 【H27からの繰越含む】	上段: 事業評価に対する対応策 下段: H29年度に向けた方針
					4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	H27(繰越分)	H28					
66	① 子育て環境の推進	教育総務課	ふるさと教育の推進 総合的な学習の時間で行われている地域学習の取組を拡充する。各小・中学校独自の取組における地域人材の活用や消耗品の支援を行う。【羽合小学校】総合的な学習「文化伝承、環境教育、平和学習」30,000円【東郷小学校】そごうてきな学習(製つくり、真鍮池体験活動、平和学習)環境教育(サケ飼育)61,000円【治小小学校】体験活動(エンジョイフィッシング、泊員がら筋伝承、GG体験)総合的な学習(製つくり、ワカメ栽培)食育64,100円【北沢中学校】湯梨浜調べ、ふるさと野外活動(GG体験)、地元の食を学ぶ45,000円【東郷中学校】湯梨浜調べ、文化の伝承、地域貢献80,000円	計画 実績													0	281	【目標】各小学校でふるさとに愛着を持つ児童生徒の育成をめざし、各種事業等実施する。アンケート目標60%以上。 【現在の状況】補助金概算払まで終了。事業計画に基づき、各小学校事業実施中。 【達成率】30% 【進捗率】30%	各小学校が、工夫を凝らしながら、体験活動を中心に事業を企画、実施している。ふるさとで暮らしたい児童生徒 H27アンケート結果59.0%(小学生3年以上62.3%、中学生全員54.0%)	【評価:C 計画どおりに進んでいる】 町内小中学校5校が体験活動を中心に工夫しながら事業を企画実施中である。	【事業評価に対する対応策】ふるさとの良さを再発見するような工夫を更に検討していく。 【H29年度に向けた方針】特色ある学校づくり推進補助金事業で行われている活動についても、ふるさと教育の視点から県事業等が活用できないか協議を進める。	
					予算額 281,000円																		
67	① 子育て環境の推進	教育総務課	小学校社会科副読本作成事業 編集委員会の開催(小中学校社会科教諭)2回開催予定 報償金2,400円×5名×2回=24,000円	計画 実績													0	0	【目標】平成28年度は編集委員を委嘱し、委員会を開催。平成29年度出版を目指す。 【現在の状況】編集委員の人選・実施案検討中 【達成率】15% 【進捗率】15%	編集委員の人選・実施案の作成中。10月中には、第1回編集委員会を実施予定。	【評価:D 計画より遅れている】 編集委員会未実施。	【事業評価に対する対応策】今後半期で2回実施する。 【H29年度に向けた方針】H29年度から、学校教職員等と協議し、教材としての活用方法も含め検討していく。H29年度出版を目指す。	
					予算額 24,000円																		
68	① 子育て環境の推進	教育総務課	児童生徒の英語コミュニケーション能力の向上 県事業外国語活動支援員の配置を行い、英語でコミュニケーションを行う機会の増設を図る。小学校では、土曜授業等を活用し、低学年から英語に触れる機会を設ける。	計画 実績													0	0	【目標】平成30年度までの取り組みについて計画案を作成する。 【現在の状況】平成28年度教育要覧を学校へ配布し、今年度の英語教育の取組を提示。 【達成率】- 【進捗率】10%	英語教育の今年度の重点取組について、教育要覧を各学校へ配布し提示することができた。各学校の状況を把握し、今年度の取組につなげるために、外国語活動及び英語の授業参観、指導助言等を今後行っていく。12月に小学校・中学校合同での英語・外国語活動授業研究会を東郷中学校で実施予定。	【評価:D 計画より遅れている】 町全体としての計画案の作成ができていない。各学校の状況を把握する必要がある。	【事業評価に対する対応策】授業参観、学校訪問を行い、29年度の計画について協議を行う。 【H29年度に向けた方針】平成30年度小学校英語先行実施にあたり、町としての計画案を作成する。	
					予算額 0円																		
69	① 子育て環境の推進	企画課	ワーク・ライフ・バランスセミナー事業 生活と仕事を両立できる職場環境づくりについて理解を深め子育て等しやすい環境づくりを推進するため、町内中小企業、一般労働者等を対象にワーク・ライフ・バランスセミナー開催する。 ・セミナー委託費 350千円 ・需用費 10千円	計画 実績													0	50	【目標】鳥取県男女共同参画推進企業認定企業数:16社(14%増) 【現在の状況】鳥取県男女共同参画推進企業認定企業数:14社(新規認定0件) 【達成率】0% 【進捗率】50%	■一般労働者等を対象にセミナーを2回実施。こども園の保護者学習会の機会に合わせて実施することにより、これまで参加率の少なかった育児世代へ効果的に啓発することができた。今後は町内企業を対象にセミナーを実施し、生活と仕事を両立できる職場環境づくりについて理解を深め、子育て等しやすい環境づくりを推進する。	【評価:D 計画より遅れている】 企業向けのセミナーについて、未着手。	【事業評価に対する対応策】商工会など、関係機関と協議しながら、引き続き着実な事業推進に努める。 【H29年度に向けた方針】■生活と仕事を両立できる職場環境づくりの推進に向けて、引き続き取り組んでいく。	
					予算額 360,000円																		
70	② 地域福祉の推進	長寿福祉課	介護予防・健康づくりリーダー(ゆりりんメイト)養成事業 介護予防・健康づくりリーダーの養成を着実に実施していくとともにリーダー実習を支援して自主的活動展開へとつなげる。 ・講座講師報償金 82千円 ・実習参加謝礼 40千円 ・講座テキスト代 50千円 ・消耗品の購入、郵送料 57千円	計画 実績													0	170	【目標】介護予防・健康増進リーダー養成者数:20人 実習参加:1人2回以上 【現在の状況】養成講座受講生:23人 講座第4回まで終了 実習参加回数:41回 【達成率】- 【進捗率】33%	講座当日欠席者にフォローアップの研修を行い4回までの講座を計画どおり開催した。昨年度の養成者も計画的に地域サロンや講演会に参加し交流が進んでいる。	【評価:B 計画以上に進んでいる】 KPI目標の20人を上回る受講生があり養成が順調に進んでいる。実習参加者も計画を上回る参加となっている。	【事業評価に対する対応策】第9回以降の講座も計画どおりに開催、受講生全員の養成が完了するように努めていく。また、実習にも積極的に参加いただけるよう声掛けを継続的に行っていく。 【H29年度に向けた方針】5年間で100人養成の目標が達成できるよう引き続き取組んで行く。	
					予算額 229,000円																		

基本目標Ⅱ 安心して暮らせるまち

施策	担当課	事業名	H28 事業内容 【H27からの繰越含む】	月	4 5 6 7 8 9 10 11 12 1 2 3												1 段目: H28KPI目標 2 段目: 現在の状況 3 段目: 達成率, 4 段目: 進捗率		予算執行状況 単位: 千円 H27(繰越分) H28 執行済額 執行済額		現在までの評価	H28 KPI 事業評価 【H27からの繰越含む】	上段: 事業評価に対する対応策 下段: H29年度に向けた方針
					計画												0		0				
71	② 地域福祉の推進	健康推進課	歯・口の健康づくり推進事業 各小学校3校で洗口を実施 教職員説明会、保護者説明会、児童生徒の説明と保健指導の実施。 29年度は歯科医師会の支援がなくなるため、実施方法の検討を学校と行っていく必要がある。	計画													0		0		3校の全児童数939人中、実施児童数909人、実施率96.8%となった。フッ化物洗口未実施の児童には水がいの動行を指導している。保護者・教職員には十分な説明を行い、了解を得た上で実施している。教育委員会、歯科医師会、薬剤師会、鳥取県、健康推進課の関係者がチームを組んで、一丸となって取り組んだことが成果につながったものと思われる。	【評価】C 計画どおりに進んでいる。 目標どおり実施ができています。	【事業評価に対する対応策】 実施状況について、各小学校を訪問し、改善点等について学校と協議を行っている。 年度末に、関係機関が集まり会議を開催する予定である。
					実績													100%		25%			
予算額 0円				【達成率】		【進捗率】																	
72	② 地域福祉の推進	健康推進課	健康相談・健康教室等の実施① 温泉を活用したウォーキング教室の実施(龍鳳閣)年間計画に沿って実施(週2回 年75回)	計画													0		140		年間計画に沿って、週2回実施中。周知について、毎月広報掲載・関係機関へチラシの配布を実施している。目標達成には、1回平均17人となるが、現在のところ16.7人である。	【評価】C 計画どおりに進んでいる。 おおむね目標どおりに参加者は推移している。	【事業評価に対する対応策】 今後も一般周知や関係機関へのチラシ配布及び、健診結果説明会での個別勧奨も実施していく。
					実績													47%		50%			
予算額 300,000円				【達成率】		【進捗率】																	
73	② 地域福祉の推進	健康推進課	【加速化】※H28.2月補正計上 積立貯筋運動教室 町内の体育施設を利用して年16回、健康体操を中心に開催し、運動の習慣化や健康づくり、介護予防として取り組む。	計画													48		0		【目標】 教室参加人数: のべ450名 ①CCRC事業に参画する民間事業者・団体数: 3団体以上 (H29.3月)、5団体以上 (H32.3月) ②県外からの移住者数: 282人 (H29.3月)、850人 (H32.3月)	評価: C 計画通り進んでいる。 定員をやや下回ったが、教室はおおむね順調に進んでいる。	【事業評価に対する対応策】 事業終了後のフォローが必要。
					実績													46%		25%			
予算額 264,000円				【達成率】		【進捗率】																	
74	② 地域福祉の推進	健康推進課	【加速化】※H28.2月補正計上 H27の運動プログラムを基に検証を行い、効果を確認する。	計画													786		0		【目標】 ①海外からのイベント参加者数: 200人 (H29.3月)、500人 (H32.3月) ②海外からのイベント参加者数: 8カ国 (H29.3月)、20カ国 (H32.3月) ③町内観光入込客数: 101万人 (H29.3月)、110万人 (H32.3月)	評価: C 計画通り進んでいる。 実験開始が予定よりやや遅れ、定員80人に対し45人の参加で、参加率56%だが、実験は順調に進んでいる。	【事業評価に対する対応策】 計画通り実施し、効果を検証する。
					実績													0%		50%			
予算額 2,295,000円				【達成率】		【進捗率】																	
75	② 地域福祉の推進	健康推進課	【加速化】※H28.2月補正計上 運動教室(龍鳳閣) 龍鳳閣において、運動教室やヨガ教室などの運動プログラムを9月から開催。	計画													934		0		【目標】 教室参加者: 延べ1,000人 ①CCRC事業に参画する民間事業者・団体数: 3団体以上 (H29.3月)、5団体以上 (H32.3月) ②県外からの移住者数: 282人 (H29.3月)、850人 (H32.3月)	評価: C 計画通り進んでいる。 事業は計画通り進んでいるが、参加者がまだ少ないため、引き続き参加者の確保が必要。	【事業評価に対する対応策】 あらゆる機会や媒体を通じて参加呼びかけを実施する。
					実績													46%		10%			
予算額 1,666,000円				【達成率】		【進捗率】																	

基本目標Ⅱ 安心して暮らせるまち

施策	担当課	事業名	H28 事業内容 【H27からの繰越含む】	月	4 5 6 7 8 9 10 11 12 1 2 3												1 段目: H28KPI目標 2 段目: 現在の状況 3 段目: 達成率, 4 段目: 進捗率		予算執行状況 単位: 千円		現在までの評価	H28 KPI 事業評価 【H27からの繰越含む】	上段: 事業評価に対する対応策 下段: H29年度に向けた方針
					H27(繰越分)	H28	執行済額	執行済額															
80	企画課	③ 結婚の出会いの場づくりと情報提供 縁結び支援員事業	晩婚化や少子化が進む中、結婚を望む男女の出会いを創出する「縁結び支援員」の活動を支援することで人口増加や次世代を担う住民の定住を促進する。 ・縁結び支援員情報交換会、研修会 出席報償金 89千円 ・婚姻成立時報償金 90千円	計画 実績													【目標】 縁結び支援員事業等により婚姻した件数: 年1件	0	0	【現在までの評価】 ■現在まで支援員の仲立ちによる婚姻成立なし。 ■現時点では各支援員に鳥取県中部で実施される広域連携婚活イベントの情報の提供を行っており、イベントへの集客も依頼している。また、今後について、本町と同様に婚活コーディネーターがいる北栄町・倉吉市と、コーディネーター同士の意見交換・情報共有を検討中。広域的に婚活支援を推進していく。 ■縁結び支援員について募集を行い、新規支援員を交えて意見交換会を行う予定であったが、新規支援員の応募がなかった。再度、募集を行うとともに、今後、意見交換会を開催して婚活情報等の共有を図る。	【評価: D 計画より遅れている】 鳥取県中部で実施する婚活イベントの情報提供等を行ったが、現時点で支援員の仲立ちによる婚姻成立なし。	【事業評価に対する対応策】 今後、支援員の情報交換の実施とともに、広域連携で行う婚活ツアー等の情報提供を行い、結婚を望む男女の出会いの場の提供に努める。 【H29年度に向けた方針】 鳥取県中部の市町が実施する婚活イベントとの連携や、他市町の婚活コーディネーター等との情報交換の機会を作りながら、支援員による婚活支援を推進する。	
					【達成率】 0%	【進捗率】 50%	0	0	【目標】 平成28年度に広域連携による婚活イベントを実施。セミナー: 20回 バスツアー: 3回	0	0	【現在までの評価】 ■中部市町・広域連携による婚活イベント(バスツアー・セミナー)について調整を行う。 ■ライフプラン協会の婚活イベントについて、セミナーを7月29日、30日に実施。県外から女性を招いての婚活体験ツアーについては9月24日～25日に実施。 ■今後、広域連携を中心としたセミナー・バスツアーを計画中。縁結び支援員等の協力を得ながら、本町独身者への呼び掛けを行い、結婚支援に努めていく。	【評価: D 計画より遅れている】 広域連携により実施した婚活イベントは、セミナー2回、ツアー1回で計画より遅れている。広域連携は観光推進機構と契約を締結して11月以降、セミナーやツアーを計画しており、今後は縁結び支援員等と連携を図りながら、独身者への呼びかけに努める。	【事業評価に対する対応策】 広域連携が計画しているツアー・セミナーを中心に中部市町で連携しながら、県中部の独身者への情報提供を行うとともに、県外からの女性の呼び込みを図る。 【H29年度に向けた方針】 婚活イベントの実施のために、規模・参加人数を確保するためには、広域的な取り組みが必要であり、今後も情報交換・参加者募集について、連携しながら取り組んでいく。									
81	企画課	③ 結婚の出会いの場づくりと情報提供 婚活イベント事業 (広域連携)	(加速化)※H28.2月補正計上 中部地区市町と連携し、婚活イベントを開催することにより、結婚を希望する方の出会いの機会を広域的に拡大するなど、少子化傾向の改善に取り組む。※中部定住自立圏事業で実施する。	計画 実績													【目標】 平成28年度に広域連携による婚活イベントを実施。セミナー: 20回 バスツアー: 3回	0	0	【現在までの評価】 ■中部市町・広域連携による婚活イベント(バスツアー・セミナー)について調整を行う。 ■ライフプラン協会の婚活イベントについて、セミナーを7月29日、30日に実施。県外から女性を招いての婚活体験ツアーについては9月24日～25日に実施。 ■今後、広域連携を中心としたセミナー・バスツアーを計画中。縁結び支援員等の協力を得ながら、本町独身者への呼び掛けを行い、結婚支援に努めていく。	【評価: D 計画より遅れている】 広域連携により実施した婚活イベントは、セミナー2回、ツアー1回で計画より遅れている。広域連携は観光推進機構と契約を締結して11月以降、セミナーやツアーを計画しており、今後は縁結び支援員等と連携を図りながら、独身者への呼びかけに努める。	【事業評価に対する対応策】 広域連携が計画しているツアー・セミナーを中心に中部市町で連携しながら、県中部の独身者への情報提供を行うとともに、県外からの女性の呼び込みを図る。 【H29年度に向けた方針】 婚活イベントの実施のために、規模・参加人数を確保するためには、広域的な取り組みが必要であり、今後も情報交換・参加者募集について、連携しながら取り組んでいく。	
					【達成率】 10%	【進捗率】 50%	0	0	【目標】 平成28年度に広域連携による婚活イベントを実施。セミナー: 20回 バスツアー: 3回	0	0	【現在までの評価】 ■中部市町・広域連携による婚活イベント(バスツアー・セミナー)について調整を行う。 ■ライフプラン協会の婚活イベントについて、セミナーを7月29日、30日に実施。県外から女性を招いての婚活体験ツアーについては9月24日～25日に実施。 ■今後、広域連携を中心としたセミナー・バスツアーを計画中。縁結び支援員等の協力を得ながら、本町独身者への呼び掛けを行い、結婚支援に努めていく。	【評価: D 計画より遅れている】 広域連携により実施した婚活イベントは、セミナー2回、ツアー1回で計画より遅れている。広域連携は観光推進機構と契約を締結して11月以降、セミナーやツアーを計画しており、今後は縁結び支援員等と連携を図りながら、独身者への呼びかけに努める。	【事業評価に対する対応策】 広域連携が計画しているツアー・セミナーを中心に中部市町で連携しながら、県中部の独身者への情報提供を行うとともに、県外からの女性の呼び込みを図る。 【H29年度に向けた方針】 婚活イベントの実施のために、規模・参加人数を確保するためには、広域的な取り組みが必要であり、今後も情報交換・参加者募集について、連携しながら取り組んでいく。									

湯梨浜町まち・ひと・しごと創生総合戦略 平成28年度事業進捗状況報告

基本目標Ⅲ 町民みんなが創るまち

施策	担当課	事業名	H28 事業内容 【H27からの繰越含む】	月	4 5 6 7 8 9 10 11 12 1 2 3												1 段目 : H28KPI目標 2 段目 : 現在の状況 3 段目 : 達成率、4 段目 : 進捗率		予算執行状況 単位:千円 H27(繰越分) H28 執行済額 執行済額		現在までの評価	H28 KPI 事業評価 【H27からの繰越含む】	上段:事業評価に対する対応策 下段:H29年度に向けた方針
					H27(繰越分)		H28																
82	① 移住定住の推進	みらい創造室	IJUターン促進事業 地域の将来を支える人材の呼び込みを図るため、都市圏での移住定住相談会に参加し、本町の魅力を積極的に発信する。 【H28予算額】346千円(旅費292千円、需用費30千円、役務費24千円)	計画	← 相談会参加 →												【目標】 移住について具体的な相談に入っている者数:5人	0	101	【評価:D 計画より遅れている】 相談会出展とともに、具体的な相談者数も順調に増加してきている。	【事業評価に対する対応策】 さらなる相談者数増加を図るため、相談会後のフォローも実施する。		
				実績	<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div>6/26鳥取県IJUターンBIG相談会in東京へ出展(相談:5件)</div> <div>7/30鳥取県IJUターンBIG相談会in大阪へ出展(相談:8件)</div> <div>8/20鳥取県中部暮らしPart2へ出展(相談:3件)</div> <div>9/12、13移住体験ツアーを実施</div> </div>												【現在の状況】 移住について具体的な相談に入っている者数:2人 ※移住体験ツアーでは、4人の相談を受けている。	【達成率】 40%	【進捗率】 50%			【H29年度に向けた方針】 BIG相談会以外の相談会について、より効果的な相談会を見極めて出展していく。	
予算額 346,000円																							
83	① 移住定住の推進	みらい創造室	空き家情報バンク活用促進事業 空き家情報バンク登録物件に町外者が転入する場合には、空き家所有者が行う改修等の費用を補助する。 上限:100千円 補助率1/2 予算:100,000円×2件=200,000円 【H28予算額】 補助金 200千円	計画	← 空き家情報バンク活用促進事業 →												【目標】 町外(県内)からの空き家バンク利用者数:3件	0	0	【評価:B 計画以上に進んでいる】 広報の効果もあり、町外(県内)からの空き家情報バンク利用者数は順調に増加している。	【事業評価に対する対応策】 空き家改修補助金の活用を増やすため、広報方法を検討する。		
				実績	<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div>町ホームページで広報(更新)</div> <div>鳥取県IJUターンBIG相談会で周知 6/26東京</div> <div>町報8月号で周知</div> </div>												【現在の状況】 町外(県内)からの空き家バンク利用者数:3件	【達成率】 100%	【進捗率】 50%			【H29年度に向けた方針】 空き家バンク制度活用を促進するため、より効果的な広報方法を検討し、実施する。	
予算額 200,000円																							
84	① 移住定住の推進	みらい創造室	空き家改修事業 空き家改修事業補助金 移住定住希望者に空き家を提供する人に対し、空き家の改修費を最大200千円補助する。 【H28予算額】 200千円×1件	計画	← 空き家改修事業補助金 →												【目標】 移住希望者へ空き家提供:2件	0	0	【評価:C 計画どおりに進んでいる】 順調に空き家所有者と利用者のマッチングを行っており、空き家提供も順調にきている。	【事業評価に対する対応策】 今後も利用者との空き家所有者のマッチングを実施していく。		
				実績	<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div>町ホームページで広報(更新)</div> <div>鳥取県IJUターンBIG相談会で周知 6/26東京</div> <div>町報8月号で周知</div> </div>												【現在の状況】 移住希望者へ空き家提供:1件	【達成率】 50%	【進捗率】 50%			【H29年度に向けた方針】 空き家改修事業補助金のより効果的な周知方法を検討し、実施していく。	
予算額 400,000円																							
85	① 移住定住の推進	みらい創造室	移住定住者住宅支援事業 県外の人又は県外から町に転入して6か月を経過していない人が住宅の新築、購入又は改修をする場合補助する。 【H28予算額】 2,900千円(移住定住(土地開発公社)2,000千円×1件 2,000千円、移住定住2名1,000千円×2件 2,000千円、移住定住1名500千円×1件 500千円)	計画	← 移住定住者住宅支援事業 →												【目標】 県外からの転入者の定住:4件	0	0	【評価:D 計画より遅れている】 移住相談会での周知も含めて、県外者に対する周知を実施する。	【事業評価に対する対応策】 移住相談会での周知も含めて、県外者に対する周知を実施する。		
				実績	<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div>県「鳥取県移住定住推進交付金」申請・決</div> <div>町ホームページで広報(更新)</div> <div>鳥取県IJUターンBIG相談会で周知 6/26東京 7/30大阪</div> </div>												【現在の状況】 県外からの転入者の定住:1件	【達成率】 25%	【進捗率】 50%			【H29年度に向けた方針】 年度内に事業が完了する必要があるため、年度の早い時期での周知方法を検討する。	
予算額 4,500,000円																							
86	① 移住定住の推進	企画課	町外者による「ゆりはま暮らし体験ボランティア」の宿泊費助成事業 町内で移住定住希望者にボランティアで作業を行ってもらうことで、地域間交流と地域の人手不足の解消を図る。 ボランティア受入者に報償費を支払い、ボランティア従事者には宿泊費を負担。 ボランティア受入報償金 150千円 ボランティア支援業務委託料(宿泊)54泊 324千円 宿泊費補助 42千円 通信運搬費 6千円	計画	← 体験ボランティアの募集 HP チラシ等 →												【目標】 ボランティア従事者:20名	0	13	【評価:C 計画どおりに進んでいる】 ボランティア従事者の目標20名に対して、現時点での従事者6名と達成率は低いですが、その他については問題なく、概ね順調に推移している。	【事業評価に対する対応策】 地域のボランティア受入団体や宿泊施設である「たみ」とは十分な連携が取れているため、引き続き相談会等の機会を捉えてPRを行い、県外からの移住定住検討者の呼び込みと交流人口の増加を図る。		
				実績	← 体験ボランティアの募集 HP チラシ等 →												【現在の状況】 参加8名のべ従事日数8日 宿泊10泊	【達成率】 30%	【進捗率】 50%			【H29年度に向けた方針】 引き続き事業を実施。広報に努めながら、参加者の増加に努める。	
予算額 522,000円																							

基本目標Ⅲ 町民みんなが創るまち

施策	担当課	事業名	H28 事業内容 【H27からの繰越含む】	月	4 5 6 7 8 9 10 11 12 1 2 3												1 段目 : H28 KPI 目標 2 段目 : 現在の状況 3 段目 : 達成率、4 段目 : 進捗率		予算執行状況 単位: 千円 H27(繰越分) H28 執行済額 執行済額		現在までの評価	H28 KPI 事業評価 【H27からの繰越含む】	上段: 事業評価に対する対応策 下段: H29年度に向けた方針
					計画	実績	【達成率】	【進捗率】	0	1,628													
87	① 移住定住の推進	みらい創造室	若者夫婦・子育て世代住宅支援事業 どちらかが35歳以下の夫婦、中学生以下の子どもが2名以上いる世帯主への住宅新築・購入費に対して補助金を交付。 新築・購入 35件、17,500千円 新築・購入(土地開発公社) 1件、1,000千円 合計 36件、18,500千円	計画	若者夫婦・子育て世代住宅支援事業 補助金受付・交付												【目標】 若者夫婦・子育て世代夫婦の定住: 26件	0	1,628	町報4月号、ホームページ更新、鳥取県IJUターンBIG相談会出席で周知を実施し、順調に交付を実施している。	【評価:B 計画以上に進んでいる】 KPI目標の26件を上回るペースで申請があった。	【事業評価に対する対応策】 さらなる申請に対応するため、9月補正で5,000千円(10件)を要求し議決された。 【H29年度に向けた方針】 当初予算での申請予定件数の精度を高めるため、住宅分譲地整備の情報収集を実施する。	
					実績	4月号町報で広報	町ホームページで広報(更新)	鳥取県IJUターンBIG相談会で周知 6/26東京 7/30大阪	9月補正で500千円(10件分)要求、議決	【現在の状況】 交付決定件数 9月末36件 H27:6件 4月:5件 5月:4件 6月:5件 7月:2件 8月:5件 9月:9件	【達成率】 100%	【進捗率】 50%	予算額 18,500,000円	随時申請書受付、交付決定を実施									
88	① 移住定住の推進	みらい創造室	三世帯同居等支援事業 三世帯家族の形成と子育ての支援を促進し、家族の絆の再生と定住促進を図る。 親と子と孫が新たに三世帯で同居または近隣に住住するための住宅の取得や増改築・リフォーム等の費用に対して助成を行う。 500千円×10件 5,000千円	計画	三世帯同居等支援事業												【目標】 新たな三世帯家族の定住: 10件	0	208	町報5月号、ホームページ更新、鳥取県IJUターンBIG相談会出席で周知を図った。 ■全体で3件の交付決定を実施している。	【評価:D 計画より遅れている】 着実に申請はあるが、達成率はなかなかのびない状況となっている。	【事業評価に対する対応策】 さらなる周知を実施する。 【H29年度に向けた方針】 より効果的な周知方法を検討し、実施する。	
					実績	5月号町報で広報	町ホームページで広報(更新)	鳥取県IJUターンBIG相談会で周知 6/26東京 7/30大阪	【現在の状況】 交付決定件数 9月末3件 5月:2件 9月:1件	【達成率】 30%	【進捗率】 50%	予算額 5,000,000円	随時申請書受付、交付決定を実施										
89	① 移住定住の推進	みらい創造室	移住者運転免許取得支援事業 県外からの移住者が自動車運転免許を取得した場合、取得費用の一部を助成する。 150千円×10件 1,500千円	計画	移住者運転免許取得支援事業												【目標】 県外からの定住者の免許取得: 10件	0	0	町報5月号、ホームページ更新、鳥取県IJUターンBIG相談会出席で周知を図った。	【評価:D 計画より遅れている】 周知を実施しているものの、相談がない状況となっている。	【事業評価に対する対応策】 さらなる周知を実施する。 【H29年度に向けた方針】 より効果的な周知方法を検討し、実施する。	
					実績	5月号町報で広報	町ホームページで広報(更新)	鳥取県IJUターンBIG相談会で周知 6/26東京 7/30大阪	【現在の状況】 交付決定件数 9月末0件	【達成率】 0%	【進捗率】 50%	予算額 1,500,000円	随時申請書受付を実施										
90	① 移住定住の推進	みらい創造室	住宅取得仲介報酬助成事業 中古住宅及び新築住宅用地(いずれも集合住宅を除く。)を購入しようとする者に対し、支払った仲介報酬の一部助成し、町内定住促進により町の活性化を図る。 130千円×10件 1,300千円	計画	住宅取得仲介報酬助成事業												【目標】 中古住宅及び新築住宅用地購入による、町内への定住: 10件	0	49	町報5月号、ホームページ更新、鳥取県IJUターンBIG相談会出席で周知を図った。 ■全体で2件の交付決定を実施している。	【評価:D 計画より遅れている】 着実に申請はあるが、達成率はなかなかのびない状況となっている。	【事業評価に対する対応策】 さらなる周知を実施する。 【H29年度に向けた方針】 より効果的な周知方法を検討し、実施する。	
					実績	5月号町報で広報	町ホームページで広報(更新)	鳥取県IJUターンBIG相談会で周知 6/26東京 7/30大阪	【現在の状況】 交付決定件数 9月末2件 7月:1件 9月:1件	【達成率】 20%	【進捗率】 50%	予算額 1,300,000円	随時申請書受付を実施										
91	① 移住定住の推進	みらい創造室	鳥取大学等との連携による「地(知)の拠点COC+」事業の推進 地域で活躍する人材の育成や大学を核とした地域産業の活性化、地方への人口集積等を推進するため、地域における複数の大学が地域活性化政策を担う地方公共団体、人材を受け入れる企業や地域活性化を目的として活動するNPOや民間団体等と協働し、当該地域における雇用創出や学卒者の地元定着率の向上を推進する。 具体的な内容は今後つめていく。	計画	随時対応												【目標】 各種団体と協働し、当該地域における雇用創出や学卒者の地元定着率の向上を推進する。	0	0	3月20日県内大学等、県、各市町村と「知(知)の拠点大学による地方創生推進事業に関する協定書」を締結した。	【評価:D 計画より遅れている】 協定書締結後の動きがない状況。	【事業評価に対する対応策】 今後、動きがあった時にすみやかに対応する。 【H29年度に向けた方針】 事業の推進に対して、すみやかに対応する。	
					実績	随時対応	【現在の状況】 各種団体と協働し、当該地域における雇用創出や学卒者の地元定着率の向上を推進している。	【達成率】 0%	【進捗率】 0%	予算額 0円													
92	① 移住定住の推進	みらい創造室	お試し住宅運営事業 空き家を借り上げて改修し、お試し住宅として活用することで、移住定住を検討している方に本町の暮らしを体験してもらうとともに、空き家の有効活用、移住定住検討者と地域住民の交流による地域活性化及び定住促進を図る。 お試し住宅に配置する家電・家具等を整備する。 (全体事業費6,937千円、需用費4,905千円、役務費476千円、使用料及び賃借料56千円、公有財産購入費1,200千円、備品購入費300千円)	計画	購入・整備 → 運営												【目標】 お試し住宅利用件数: 3件	0	0	6月27日中部総合事務所用地課と打合せを実施した。 8月20日周辺住民説明を実施した。 9月30日空き家買取に向けて、公法申請を出した。	【評価:D 計画より遅れている】 お試し住宅未設置のため利用まで至っていない。	【事業評価に対する対応策】 売買契約、改修を早急に実施する。 【H29年度に向けた方針】 お試し住宅の活発な利用に向けて周知を実施する。	
					実績	購入に関して検討実	6/27中部総合事務所用地課と打合せ	起工伺起案、決裁	8/20空き家所有者と打合せ、住民説明	9/17~21所有者片付作業	9/30公法申請(県)	【現在の状況】 お試し住宅利用件数: 0件 購入・整備に関して検討、関係者と協議中。	【達成率】 0%	【進捗率】 30%	予算額 6,937,000円								

基本目標Ⅲ 町民みんなが創るまち

施策	担当課	事業名	H28 事業内容 【H27からの繰越含む】	月	4 5 6 7 8 9 10 11 12 1 2 3												1 段目 : H28 KPI 目標 2 段目 : 現在の状況 3 段目 : 達成率、4 段目 : 進捗率	予算執行状況 単位: 千円		現在までの評価	H28 KPI 事業評価 【H27からの繰越含む】	上段: 事業評価に対する対応策 下段: H29年度に向けた方針
					H27(繰越分)	H28	執行済額	執行済額														
93	① 移住定住の推進	教育総務課	ふるさと奨学金 員と事業(名称変更: ふるさと人材育成奨学金支援助成金事業) 【Ⅰ: ④雇用の推進にも記載あり】	ふるさと人材育成奨学金支援助成金 鳥取県未来人材育成奨学金支援助成金の認定を受け、町内に定住する人を対象に奨学金返還額の一部を助成する。 ○対象となる業種など 製造業、情報通信業、薬剤師の領域、建設業、建設コンサルタント業、旅館・ホテル業に就職している既卒者や就職する予定の学生。 ○助成内容 無利子の奨学金: 貸与を受けた奨学金の返還総額の1/6 有利子の奨学金: 貸与を受けた奨学金の返還総額の1/8 助成期間は、原則として県内の対象業種に就職してから8年間。 予算額 630,000円	計画													0	0	鳥取県未来人材育成奨学金支援助成金の認定者で湯梨浜町在住者は現在4名であることを確認した。この4名のかたについて、8月23日に県就業支援課をとおして湯梨浜町の助成事業の案内を送付した。また、この他にも湯梨浜町出身者があるだろうという県の配慮により、県の認定文書に湯梨浜町の事業案内を併せて送付(12件)、今後とも県の連携を固めながら周知していく予定である。	【評価: C】計画どおりに進んでいる	【事業評価に対する対応策】 県に度々確認をして、申請を促していく。 【H29年度に向けた方針】 県と一層の連携を図り、早目の対応で事業に取り組む。
					実績													20%	20%	【達成率】 20% 【進捗率】 20%		
94	① 移住定住の推進	みらい創造室	「生涯活躍のまち」湯梨浜町版CCRC事業の推進①(再掲) 【Ⅱ: ②地域福祉の推進にも記載あり】 【加速化】※H28.2月補正計上 ・拠点エリア整備基本計画策定 13,000千円 ・委託料13,000千円 ・東京圏のアクティブシニアへの情報発信 1,190千円 ・イベント参加旅費228千円、消耗品費100千円、お話しツアー企画委託料600千円、会場使用料262千円、 ・設立団体立ち上げ及び協議会費用 1,937千円 ・委員報酬金120千円、視察旅費777千円、消耗品費30千円、通信運搬費10千円、会社設立補助金1,000千円 合計 27,780千円(うちCCRC 16,127千円) 【推進交付金】※H28.6月補正計上 多世代が充実した生活と安心して暮らせる健康まちづくり事業 ・都市部等での広告、Web上でのコマニシャル等の情報発信 9,000千円 ・まちづくり会社の活動費 20,000千円 ・高齢者住宅拠点整備のための検討費 10,000千円 ・松崎商店街拠点整備のための検討費 15,000千円 ・東郷製菓栽培連携プロジェクト事業 2,000千円(担当: 産業振興課) ・まちづくり会社設立出資金 2,400千円(交付金対象外) 合計 58,400千円(うちCCRC 58,400千円) 【地域おこし協力隊】※H28.6月補正計上 ・まちづくり会社へ派遣(5名) 14,980千円(うちCCRC 14,980千円) 予算額 89,507,000円	計画													562	0	5月27日「生涯活躍のまち基本計画策定業務」を(一社)コミュニティネットワーク協会と委託契約を締結し、拠点エリアの整備計画等の調査・策定を実施中。 5月28日には東京移住促進センターで開催された「第5回生涯活躍のまちをつくる会」に職員2名が出席し、本町のPRや18名の参加者と意見交換を行った。 6月17日には、生涯活躍のまちに係る地域再生計画及び推進交付金の申請書を内閣府に提出し、8月30日認定・決定となった。 7月1日には、鳥取県・湯梨浜町・嶺コミュニティネットワーク・コミュニティネットワーク協会と協定書調印を実施。 9月12、13日には、首都圏の方を対象とした移住体験ツアーを実施し、5名の方が参加。 まちづくり会社の設立においては、年度内の設立予定を前倒しし、今年中には設立するため、取り組みを行っている。 10月からは、地域おこし協力隊4名を任命し、生涯活躍のまち事業の推進やまちづくり会社の運営に携わっていただく。 事業内容や関係者が多岐にわたり、調整等に時間を要する状況である。	【評価: D】計画より遅れている	【事業評価に対する対応策】 関係者との連携を図り、スピード感を持ってまちづくり会社設立や各種事業に取り組んでいく。 県外からの移住者数については、H28.9月末現在80人であり、概ね順調に推移している。 CCRCに参画する事業者・団体数については、現在まちづくり会社の設立に向けて取り組んでいるところであり、出資者が集まれば達成できるものと考えられる。 製菓栽培連携プロジェクトについては、「東郷製菓栽培連携プロジェクト事業」により栽培面積の拡大に取り組んでおり、	
				実績													27%	50%	【達成率】 27% 【進捗率】 50%			
95	① 移住定住の推進	健康推進課	「生涯活躍のまち」湯梨浜町版CCRC事業の推進②(再掲) 【Ⅱ: ②地域福祉の推進にも記載あり】 【加速化】※H28.2月補正計上 モデル事業を選定し、地区及び看護大学と連携し、事業実施にむけ協議や健康教室を開催する。 ・「まちの保健室」等事業にかかる報酬金 68千円 ・地区での健康教室に係る消耗品・使用料 197千円 ・健康教育に必要な備品購入費(PC・フロッピー等) 235千円	計画													179	0	5月看護大学と事業についての協議を実施。 6月これまでの地区健康教育等の実績により候補地区を選定し、区長に検討依頼等実施。 6月末検討依頼していた1地区より承諾あり。 9月実施に向けて、地区との協議。 (11月「まちの保健室」事業実施予定)	【評価: D】計画より遅れている	【事業評価に対する対応策】 今年度の計画について、区や関係機関と連携をとり実施に努める。 当初の予定よりやや遅れている感はあるが、地区の実情を踏まえ、今後事業実施に向けて協議していく方向である。	
				実績													46%	50%	【達成率】 46% 【進捗率】 50%			
96	① 移住定住の推進	長寿福祉課	「生涯活躍のまち」湯梨浜町版CCRC事業の推進③(再掲) 【Ⅱ: ②地域福祉の推進にも記載あり】 【加速化】※H28.2月補正計上 必要な時に必要な支援を受け、誰もが生涯にわたって活躍できる、安心して暮らせる湯梨浜町の地域包括ケアの早期実現に向け、福祉・介護・保健・医療の連携について、行政、町民、関係機関が担う役割や取り組むべき方向性、施策を明らかにした地域づくりの基本となる計画を策定する。 ・委託料 10,000,000円	計画													0	0	「福祉・保健・医療」の整備状況など基礎資料を提供し、関係機関の聞き取り調査など日程調整やヒアリングの立会いを行った。 現在は計画策定のスケジュールに沿ってコミュニティネットワーク協会が地域の現状や課題分析を行い、湯梨浜町の目指す地域包括ケアの方向性を検討、町を3つのエリアに分け、地域包括ケアモデル案の具体的内容や関係機関の連携施策を検討している。	【評価: D】計画より遅れている	【事業評価に対する対応策】 介護保険制度や在宅医療・介護連携の取組、高齢者福祉の現状を踏まえた計画となるよう十分に協議を重ねていく。 11月7日コミュニティネットワーク担当者や長寿福祉課、地域包括支援センターとの協議をおこなう予定。	
				実績													46%	41%	【達成率】 46% 【進捗率】 41%			

基本目標Ⅲ 町民みんなが創るまち

施策	担当課	事業名	H28 事業内容 【H27からの繰越含む】	月	4 5 6 7 8 9 10 11 12 1 2 3												1 段目: H28KPI目標 2 段目: 現在の状況 3 段目: 達成率、4 段目: 進捗率		予算執行状況 単位: 千円 H27(繰越分) 執行済額 H28 執行済額		現在までの評価	H28 KPI 事業評価 【H27からの繰越含む】	上段: 事業評価に対する対応策 下段: H29年度に向けた方針
					計画												0		0				
97	町民課	① 移住定住の推進	町営住宅の若者向け住宅とCCRCによる高齢者住宅の改修 【加速化】※H28.2月補正計上 町営住宅建替えについて、生涯活躍のまちに活かされる多世代交流拠点としての整備計画の検討 ・建設場所 ・規模(戸数) ・現住民の意向調査 全体事業費のうち3,000千円	計画	生涯活躍のまちにおける拠点エリア整備に関する計画策定												【目標】 ①CCRC事業に参画する民間事業者・団体数: 3団体以上(H29.3月)、5団体以上(H32.3月) ②県外からの移住者数: 282人(H29.3月)、850人(H32.3月)	0	0	委託業者とヒアリングを実施 ・住宅の配置地図等資料を提出 ・9業者との報告会 ・委託業者とヒアリングを実施し、必要資料を提出	【評価: D 計画より遅れている】	【事業評価に対する対応策】 引き続き建設場所、規模等の計画策定を協議する。 委託業者とのヒアリング及び必要な資料を提出し、現在どこに住宅を集約するか、どんな選択肢があるか検討している。	
					実績																		【現在の状況】 (加速化交付金) ①0団体 ②257人
			予算額 3,000,000円																				
98	企画課	② まちのにぎわい創出や拠点の形成	地域おこし協力隊事業 地域おこし協力隊2名雇用し、地域活動に従事。地域の活力向上を図る。 ◆協力隊2名分報酬等 4,642千円 ◆消耗品 15千円 ◆活動費 3,342千円	計画	協力隊の活動推進(佐藤隊員)												【目標】 地域おこし協力隊任用: 2名(平成27年度任用者含む)	0	1,548	4/1から着任している佐藤隊員は、地域とのつながりを深めながら、サカナクワイ屋、よどや等での活動を行っている。自ら「軽トラ市」を企画し、産品の販売PRにも取り組んだ。しかしながら、自己都合により9月末で退任し、9月末時点で任用0名となってしまった。 6/24から8/5まで協力隊員を1名募集し、5名の応募があった。8/19に一次選考、9/5に二次選考を行い、神戸市在住の女性1名が合格となった。着任日を現在調整中。(12月1日任用予定)	【評価: D 計画より遅れている】	【事業評価に対する対応策】 関係課と調整し、早い時期に1名募集開始する。	
					実績																		【現在の状況】 1名は4/1より任命したが9/月末で退任。別途募集していた1名について、9/5に任用を決定。現在、着任日を調整中。
			予算額 7,999,000円																				
99	企画課	② まちのにぎわい創出や拠点の形成	コミュニティ助成事業 (財)自治総合センターが実施するコミュニティ助成事業を活用し、町内各集落、団体のコミュニティ活動に必要な施設又は設備の整備を行う。 補助金0件(交付決定後、補正予算で対応) 役務費 13千円 H28.6月補正予算計上 補助金3件 5,700千円	計画	6月予算上程 採択 3自治区 港区・川上区・はわい長瀬団地区 H29年度 申請自治区募集 H29年度 自治総合センターへ申請手続 補助金交付手続 H28年度 自治総合センター実績報告												【目標】 (財)自治総合センターが実施するコミュニティ助成事業を活用し、町内各集落、団体のコミュニティ活動に必要な施設又は設備の整備を行う。	0	2,200	自治総合センターによる事業採択件数3件 事業実施が採択された自治体に補助金を交付するため、6月議会で予算を補正した後に補助金の交付決定を行った。3自治区のうち、川上区については事業が完了し、補助金を交付した。 【事業実施自治区】 ①川上区 ②はわい長瀬団地区 ③港区 ※補助金交付決定額5,700千円	【評価: C 計画どおりに進んでいる】	【事業評価に対する対応策】 事業実施自治区の実施状況を確認しながら、引き続き備品等の整備を支援する。 各事業実施自治区はすでに採択事業に着手しており、事業は計画どおりに進んでいる。	
					実績																		【現在の状況】 補助金交付決定 3自治区 5,700千円
			予算額 5,713,000円																				
100	企画課	② まちのにぎわい創出や拠点の形成	まちづくり創造事業・ステップ事業 自主的・継続的にまちづくりを推進する団体への助成を行う。対象事業は、原則新規事業で、事業成果が継続性(原則3年以上)及び活性化が図られるソフト事業。 交付補助金 1件200千円×2団体(創造事業) 1件100千円×4団体(ステップ事業) 役務費 5千円 ※県費:市町村交付金(1/2) その他:元気なまちづくり基金繰入金	計画	各団体申請 案内・交付決定通知・審査会 新規団体募集チラシ、広報 新規団体審査会 新規団体呼びかけ 補助金申請処理 ゆりりんコンテスト審査会												【目標】 まちづくりを創造する団体の育成 新規団体 2団体 継続活動団体 4団体 ・新規団体募集チラシ、広報 ・基金取り崩し(財務)	0	390	現時点(9月末)までに審査会を2回実施し、①ステップ事業(継続活動団体)として1団体を採択 ⇒中華コスプレ実行委員会(中華コスプレ大会〜ゆりりんコンテスト〜) ※助成額:100千円 ②まちづくり創造事業として1団体を採択 ⇒鬼塚の里プロジェクト(鬼塚の里プロジェクト) ※助成額:190千円 【新規団体】 ①鬼塚の里プロジェクト 【継続活動団体】 ①三八市実行委員会 ②中華コスプレ実行委員会 【10月審査会の開催に向けて、町広報紙(8月号)やHPなどでまちづくり創造事業の提案案件を募集したが、結果的に応募は0件だった。	【評価: D 計画より遅れている】	【事業評価に対する対応策】 情報提供手段のあり方を工夫、検討しながら、引き続き制度の周知、啓発に努める。 制度の周知、啓発を行いながら、新規団体及び継続団体の支援に努めているが、制度を活用してまちづくりを創造する団体数は当初の目標に達していない。	
					実績																		【現在の状況】 新規団体 1団体 継続活動団体 2団体
			予算額 805,000円																				

基本目標Ⅲ 町民みんなが創るまち

施策	担当課	事業名	H28 事業内容 【H27からの繰越含む】	月	4 5 6 7 8 9 10 11 12 1 2 3												1 段目: H28 KPI 目標 2 段目: 現在の状況 3 段目: 達成率、4 段目: 進捗率		予算執行状況 単位: 千円 H27(繰越分) H28 執行済額		現在までの評価	H28 KPI 事業評価 【H27からの繰越含む】	上段: 事業評価に対する対応策 下段: H29年度に向けた方針		
					0		14,982		0		3,559		0		0										
101	企画課	地域のにぎわい、まちづくりを創出する事業への支援③ 集落づくり総合交付金事業	集落づくり総合交付金事業 町内各集落の運営費や防災活動、その他福祉活動等自主的な集落づくり活動などに対して交付金を助成する。 ・集落運営交付金 ・自主防災組織運営交付金 ・納税奨励事業交付金 ・防犯灯維持管理交付金 ・防犯灯設置交付金 ・集落活性化交付金 補助金計 35,966千円 役務費 62千円	計画													【目標】 集落づくり総合交付金: 75地区		0		14,982		■交付金メニューのうち、集落運営交付金については75区全区に交付決定し、交付を実施した。 ■集落活性化交付金に関し、未申請の区に対して、電話・面談等で制度活用の働きかけを行ったが、世帯数が少なく交付金を活用するような取り組みを行っていないという反応もあり、全区での活用に至っていない。 ■その他のメニューについても、4月中旬に制度案内を行い、随時申請を受け付けている。 ■交付金の手続きの簡素化等の見直しについて内部で検討はしているが、現時点で立案に至っていない。	【評価: D】計画より遅れている	【事業評価に対する対応策】 10月中旬に各区へ制度に対するアンケート調査を行い、意見を集約する。 【H29年度に向けた方針】 ■手続きの簡素化など、各区の意見反映を目的とした制度改正を行い、H29から運用する。
				実績													【現在の状況】 ■集落運営・防犯灯維持交付金75区 ■集落活性化事業交付金70区 ■防犯灯設置交付金27区		【達成率】 50%		【進捗率】 40%				
予算額 35,966,000円																									
102	企画課	地域のにぎわい、まちづくりを創出する事業への支援④ 地域にぎわい創出事業	町内に旧地区公民館単位を基準とした地域を設定し、その地域で実施する「運動会」、「祭り」などの経費を補助する。 12地域(羽合: 7地域、東郷: 4地域、泊: 1地域) 【補助率・補助金限度額】 補助率: 10/10 限度額: 地域均等分90,000円+地域の人口×150円 補助金: 3,670千円 役務費: 6千円	計画													【目標】 地域にぎわい創出事業補助金: 12地域		0		3,559		■現在、対象全地域(12地域)の実施する運動会などの事業に交付決定した。引き続き、町内のにぎわいの創出と住民間の交流の促進を促す。 ■地域の利便性、申請事務の簡素化等を考慮し、補助金の見直しについて内部で検討はしているが、現時点で立案に至っていない。	【評価: D】計画より遅れている	【事業評価に対する対応策】 各地域へ制度に対するアンケート調査を行い、意見を集約する。 【H29年度に向けた方針】 ■各区を対象とした他の交付金と合わせて補助金を見直し、H29から運用する。
				実績													【現在の状況】 補助金交付決定: 12地域		【達成率】 50%		【進捗率】 40%				
予算額 3,676,000円																									
103	企画課	地域のにぎわい、まちづくりを創出する事業への支援⑤ ボランティア団体育成支援事業	ボランティア団体育成支援事業 ボランティア団体の育成を図り、住民参加型の地域活動を促進し、協働のまちづくりを推進する団体を支援する。 補助金 10団体 450千円 費用 5千円 役務費 4千円	計画													【目標】 NPO法人、ボランティアグループの数: 2団体増		0		0		■現在、新規登録団体1団体で、目標に対しては順調に推移している。 ■ボランティア活動支援の補助金について、9団体で活用予定(現在交付決定8団体)。 ■引き続きボランティア活動への支援を行うとともに、支援制度や団体の活動状況の周知を行い、まちづくりへの住民参加を促す。	【評価: C】計画どおりに進んでいる	【事業評価に対する対応策】 引き続きボランティア団体への呼びかけを行い、補助制度により活動を支援するとともに、住民によるまちづくりを推進する。 【H29年度に向けた方針】 引き続き事業の広報や個別の呼びかけにより、ボランティア活動の支援を行っていく。
				実績													【現在の状況】 新規登録団体 1団体		【達成率】 50%		【進捗率】 50%				
予算額 459,000円																									
104	総務課	防災対策特別強化事業	湯梨浜町内各集落の防災意識高揚のための人的支援。 30件以上の各種団体・集落の研修を実施していく。また、自主防災組織を3地区以上設立する。 ・社会保険料 382千円 ・賃金 2,520千円 ・旅費 10千円 ・消耗品郵券料 564千円	計画													【目標】 湯梨浜町内各集落の防災意識高揚のための人的支援。 30件以上の各種団体・集落の研修を実施していく。また、自主防災組織を3地区以上設立する。		0		1,532		■各集落等への防災講習も良好に推移している。自主防災組織設立団体は2団体設立していただいたところ。今後とも、既設立団体も含め、訓練等強化等を行ってきたい。区長への通知や防災対策官を町報に掲載するなど防災への住民への情報提供等も力を入れていきたい。	【評価: C】計画どおりに進んでいる	【事業評価に対する対応策】 目標の3地区にこだわることなく、未組織地区の全組織化に向けて努力したい。 【H29年度に向けた方針】 研修の実施、未組織地区の設立支援はもちろんであるが、既存の組織の充実強化策、とりわけ災害時要支援者対策の強化についても検討する必要がある。
				実績													【現在の状況】 各種団体・集落の研修: 18件 自主防災組織設立: 2地区 未設立地区への呼びかけを継続して行っている。		【達成率】 60%		【進捗率】 50%				
予算額 3,476,000円																									

基本目標Ⅲ 町民みんなが創るまち

施策	担当課	事業名	H28 事業内容 【H27からの繰越含む】	月	4 5 6 7 8 9 10 11 12 1 2 3												1 段目: H28 KPI 目標 2 段目: 現在の状況 3 段目: 達成率、4 段目: 進捗率		予算執行状況 単位: 千円 H27(繰越分) H28 執行済額 執行済額		現在までの評価	H28 KPI 事業評価 【H27からの繰越含む】	上段: 事業評価に対する対応策 下段: H29年度に向けた方針
					予算額	執行済額	執行済額	達成率	進捗率	達成率	進捗率												
105	総合福祉課	② まちのにぎわい創出や拠点の形成 小地域拠点集会所等バリアフリー事業	高齢化した地域住民等が安心して地域交流できるように拠点である地域集会所等のバリアフリー改修に対し助成を行う。上限1,000千円。2/3助成。5カ所想定	計画	希望地区からの申請を年間を通じて受け、年間5件を目標に地域集会所等のバリアフリー化を推進する。												【目標】 バリアフリー改修5地区	0	683	9月末現在で3地区のバリアフリー改修終了した。また、機会を捉えて改修が必要と思われる地域への周知を地域へ周知を行った結果、複数の地区から検討する旨の相談を受けているなど進捗状況は概ね順調に進んでいる。	【評価: C】計画どおりに進んでいる	【事業評価に対する対応策】 年末の区長会で再度周知を図る。	
			予算額 2,000,000円	実績	・4月15日 漆原公民館改修申請 5月20日完了 補助額41,000円 ・5月30日 橋津地区公民館改修申請 6月3日完了 補助額151,000円 ・6月1日 長瀬西部公民館改修申請あり 7月15日完了 補助額491,000円												【現在の状況】 3地区(漆原、橋津、長瀬西部)改修済み 複数地区の区長から問い合わせあり	0	683	【達成率】 60%	60%	【進捗率】 60%	【事業評価に対する対応策】 地区負担もあるため、地区での協議ができるよう平成28年度と同様に区長や関係者へ早めの重点的な周知を行う。
106	長寿福祉課	② まちのにぎわい創出や拠点の形成 買い物難民対策事業	町フォーマルサービス・インフォーマルサービス一覧ののりあいバス、移動販売、ネットスーパー、宅配サービス等の情報を集約、必要に応じて情報提供を行い買物等不便者の解消を図る。 また、平成28年度から町社会福祉協議会が実施しているのりあいバス運行事業の経費助成を行い移動支援の確保を図る。 ・補助金 66,961円	計画	町社会福祉協議会 のりあいバス運行事業支援 【事業周知・補助金交付】 移動販売・配食サービス・宅配・のりあいバス等インフォーマルサービスの情報収集及び更新・相談者への情報提供												【目標】 サービス一覧の更新を随時行い適正サービスにつなげる。 また、のりあいバス事業に係る経費の助成を行い、事業運営の安定を図る。	0	0	現在の登録者28人。運行1回当たりの利用者は約8人でそれ程多くはなく、東郷地域登録者(11人)の月平均1人当たり利用回数は2回、泊・羽合地域登録者(17人)は1回となっている。昨年度は全町で約60人の登録者があったが実利用者は29名で本年度と比較して大きな増減はない。	【評価: C】計画どおりに進んでいる	【事業評価に対する対応策】 のりあいバス運行事業が効果的に活用されるよう、事業周知の支援を行っていく。	
			予算額 66,961円	実績	のりあいバス補助金 変更協議・増額決定 66,961円→188,000円 フォーマル・インフォーマルサービス一覧改定 のりあいバス利用実績 4月～7月 東郷 12回91人 泊・羽合 8回77人 のりあいバス利用実績 8月 東郷 3回23人 泊・羽合 2回15人 のりあいバス利用実績 9月 東郷 2回16人 泊・羽合 2回18人												【現在の状況】 補助金交付申請を促し、各月の運行実績の確認を行った。	0	0	【達成率】 0%	50%	【進捗率】 50%	【H29年度に向けた方針】 のりあいバス運行事業の助成を継続しながら、交通不便者の移動手段確保をトータル的にケアできる体制を検討していく必要がある。
107	みらい創造室	② まちのにぎわい創出や拠点の形成 小さな拠点事業の推進	小学校区など、複数の集落が集まる地域において、商店、診療所などの生活サービスや地域活動を、歩いて動ける範囲でつなぎ、人々が集い、交流する機会を広げ、新しい集落地域の再生を目指す取組みを行う。 地域住民が主体となった協議会の設置、地域の実態調査、先進地視察を実施する。 (事業費総額708千円、報償費589千円、旅費49千円、需用費30千円、役員費26千円、使用料及び賃賃14千円)	計画	協議会の設立 具体的な内容、計画の検討、策定 地域の実態調査 先進地視察												【目標】 小さな拠点協議会の設立: 1件	0	1	■5月13日 県中部総合事務所中山間チームと打合せを実施。 ■5月県「鳥取県広域的地域運営組織づくり支援事業」の申請を行い、交付決定を受理した。 ■5～6月区長、関係者との打合せを実施した。 ■6月検討協議会設置要綱を策定し、募集を開始した。 ■9月10日協議会委員を委嘱。 ■9月20日第1回検討協議会議開催。	【評価: C】計画どおりに進んでいる	協議会設置を実施した。	
			予算額 708,000円	実績	関連資料作成、調査 5/13県中部総合事務所中山間チームと打合せ 鳥取県広域的な地域運営組織づくり支援事業申請・交付決定受理 5/24泊6区長と打合せ 6/8 NPO法人未来副理事長と打合せ 6/16検討協議会設置要綱策定 6/27～協議会委員募集HP、町報告知 7/11～TCC文字放送、データ放送告知 8/10協議会委員委嘱 9/20第1回検討協議会議開催												【現在の状況】 小さな拠点協議会の設立: 1件	0	1	【達成率】 100%	40%	【進捗率】 40%	【H29年度に向けた方針】 協議会で策定する計画のさらなる検討や実施を行う。
108	産業振興課	② まちのにぎわい創出や拠点の形成 温泉熱を活用した農業・観光分野の2次利用への展開(再掲) 【1: ①農林水産業の振興及び1: ②観光産業の振興にも記載あり】		計画													【目標】						
			予算額 0円	実績													【現在の状況】						
109	企画課	② まちのにぎわい創出や拠点の形成 ICT推進事業①	鳥取県自治体ICT共同化推進協議会に対し、行政イントラ負担金を支払う。行政イントラは、自治体間で活用するグループウェアで県及び県内市町村が参加する。参加自治体でシステム利用の運営費を負担する。行政イントラの導入により、複数の自治体間でのディスカッション、一斉質問、照会、ファイルの共有が可能となる。	計画	セキュリティクラウド例規、運用整備 セキュリティソリューション部会における、クラウド活用の研究 情報セキュリティクラウド構築(県) 負担金算定(県) クラウド供用開始(県)												【目標】 セキュリティソリューション部会におけるクラウド活用の調査研究。	0	115	■自治体情報セキュリティソリューション部会で、情報セキュリティクラウドへの参加団体を取りまとめるところ、構成団体である19自治体すべてが参加意志を表明した。セキュリティクラウドの仕様について調整完了。8/19県情報政策課がセキュリティクラウド構築業務を調達公告。	【評価: C】計画どおりに進んでいる	7、8月期に、年度当初の計画から若干のずれ込みがあったものの、9月末時点では概ね予定どおりに、セキュリティクラウド構築業務の調達公告までこぎつけた。	
			予算額 229,000円	実績	5/31(火) 第1回行政イントラ部会 6/24(金) 第2回行政イントラ部会 7/22(金) 第2回セキュリティソリューション部会 7/29(金) 情報セキュリティクラウドへの参加表明 8/19(金) 県セキュリティクラウド構築業務調達公告												【現在の状況】 情報セキュリティクラウドの仕様決定。負担金割合決定。 ・部会2回/全4回 開催	0	115	【達成率】 50%	50%	【進捗率】 50%	【H29年度に向けた方針】 4月1日のセキュリティクラウド運用開始に向けて、インシデント発生時の連携対応など、関係自治体との協議を進める。

基本目標Ⅲ 町民みんなが創るまち

施策	担当課	事業名	H28 事業内容 【H27からの繰越含む】	月	4 5 6 7 8 9 10 11 12 1 2 3												1 段目: H28 KPI 目標 2 段目: 現在の状況 3 段目: 達成率、4 段目: 進捗率		予算執行状況 単位: 千円 H27 (繰越分) H28 執行済額 執行済額		現在までの評価	H28 KPI 事業評価 【H27からの繰越含む】	上段: 事業評価に対する対応策 下段: H29年度に向けた方針
					H27 (繰越分)		H28																
110	総務課	ICT推進事業②	電子申請システムの構築に向けて、県及び関係市町村と協議検討を行うとともに、その他のシステムの共同化についても引き続き検討する。	計画													【目標】 平成29年度からの電子申請システム運用開始。	0	88	鳥取県と県内市町村(一部除く)がICT共同化広域連携協約を締結し、共同で電子申請システムなどの調達を実施する。現在、システム構築業者を決定し、具体的なシステム内容の協議を行っている。順調に進捗している。	【評価:C 計画どおりに進んでいる】 県下で歩調を合わせての取り組みであるが、スムーズな導入に向けて取り組みができています。	【事業評価に対する対応策】 今後、電子申請システムの細部(対象業務、様式など)についての調整が始まるため、担当者レベルでの協議調整が必要となる。	【H29年度に向けた方針】 当システムを導入することに対する、実務者レベルの認識の向上を図る。
				実績													【現在の状況】 計画どおりに進捗している。	0	88				
				予算額 185,000円																			
111	総務課	ICT推進事業③	主要な避難所の情報支援。 Wi-Fiステーション1ヶ所、アクセスポイント5か所(水明荘、中央公民館、泊分館、アロハホール、羽合庁舎)に21台を整備していく。 ・工事費 3,445千円	計画													【目標】 Wi-Fiステーション1ヶ所、アクセスポイント5か所21台を整備していく。	0	0	国への申請にあたっての補足説明資料の整備を行っている段階。事務をしっかりと進め、工事へ着手していきたい。	【評価:D 計画より遅れている】 補助対象事業の詳細が判明したのが2か月前であり、申請にあたっての補足資料を整備しているが、事業着手には至っていない。国との緊密な連絡調整に努め、早期の着手に努めたい。	【事業評価に対する対応策】 国との連絡調整を密にして、早急に事業着手したい。	【H29年度に向けた方針】 整備後のステーションの活用や広報について検討する必要がある。
				実績													【現在の状況】 国への申請を行った。	0	0				
				予算額 3,445,000円																			